

水俣学研究センターの活動に関する主要新聞記事

(2015年4月～2017年3月)

熊本日日新聞	・ ・ ・ ・ ・	p.24
朝日新聞	・ ・ ・ ・ ・	p.68
西日本新聞	・ ・ ・ ・ ・	p.90
読売新聞	・ ・ ・ ・ ・	p.99
新潟日報	・ ・ ・ ・ ・	p.100

2015/04/16 木曜日

熊本日日新聞 朝刊

19面 1段

熊日の本 水俣学ブックレット13
「いのちをつなぐ～水俣、福島、東北～」

水俣病事件をさまざまな視点から再検証し、現代社会が抱える問題に迫る「熊本学園大学・水俣学ブックレット」シリーズの最新作「いのちをつなぐ～水俣、福島、東北～」を発売中です。

2011年3月11日の東日本大震災とそれに続く福島原発事故。起こした震災、津波、原発事故を私たちはどう考えていくのか。そのことの意味を考え、「いのちをつなぐ～水俣、福島、東北～」を表現し、考察した1冊。熊本学園大学で開かれた福祉環境学フォーラムの内容に、水俣と福島の現状をテーマに「水俣学からの問題提起」などの書き下ろしを加えています。

水俣学ブックレット
「いのちをつなぐ～水俣、福島、東北～」

好評発売中

お求めは書店、熊日販売センター、熊日支社・総支局、または熊日出版(096)361-8274へ。

【企画】熊本学園大学水俣学研究センター
【編著者】花田昌宣、中地重晴(ともに熊本学園大学社会福祉学部教授) 【体裁】A5判、110ページ 【定価】本体価格800円(税別) 【発行】熊本日日新聞社 【制作・発売】熊日出版



熊日の本

2015/04/26

日曜日

熊本日日新聞

朝刊

8面 2 段

読書 熊本のほん 「いのちをつなぐ～水俣、福島、東北」 花田昌宜
中地重晴編著

熊本のほん

「いのちをつなぐ」
水俣、福島、東北

花田昌宜、
中地重晴編著

「熊本学園大学・水俣学ブックレット」の13冊目。2012年に同大で開かれた福祉環境学フォーラム「いのちをつなぐ、東北、熊本」3・11以降の福祉と環境を考える」の記録を再編集した。同大の花田昌宜水俣学研究センター長の論考「水俣病の経験と福島の被害―水俣学からの問題提起」なども収録。

震災・原発事故後の東京電力・政府の対応は、事実の隠蔽と情報隠し、加害企業の責任回避、加害企業救済など、水俣病事件史のフラッシュバックのようだと言指摘。一方で、安易に水俣病被害と重ね合わせることは、国家ぐるみで推進してきた原発開発の帰結という福島原発事故の本質を見えなくする恐れがあるとも戒めている。

(熊本日日新聞社・864円)



2015/07/06

月曜日

熊本日日新聞

朝刊

17面 2 段

「水俣学」講義 ネットで生中継
熊本学園大 きょうから3週連続
配信会社と連携

熊本学園大は水俣病事件を
さまざまな立場で捉える「水
俣学」を学外に発信しようと、
6日から3週連続で講義
をインターネットで生中継す
る。

同大は全国の大学で唯一、
水俣病をテーマにした水俣学
研究センターを設置。独自の
研究実績に関心を持ってもら
おつと、動画学習サービス
choo（スクール）の運営
会社と連携して初めて実施す
る。

講義は6、13、20日の計3
回で、午後7時から1時間。
同センターの教授3人が水俣
病の歴史や課題、世界的な水
銀汚染問題などを解説する。
スクールのホームページで無料
聴講でき、ネットを通じ、そ

「水俣学」講義 ネットで生中継

熊本学園大 きょうから3週連続

の場で質問や意見のやりとり
ができる。後日、録画も見ら
れる。

6日はセンター長の花田昌
宣教授が「終わりなき水俣病
の60年」と題して、被害拡大
の経緯や水俣病と向き合っ
て生きる患者の暮らしぶりなど

配信会社と連携

を伝える。花田教授は「水俣
病問題を広く共有できる機会
としたい」と話す。

水俣学は、多くの患者を診
察した故原田正純医師らが提
唱。2002年度から同大社
会福祉学部で開講している。

(鎌倉尊信)

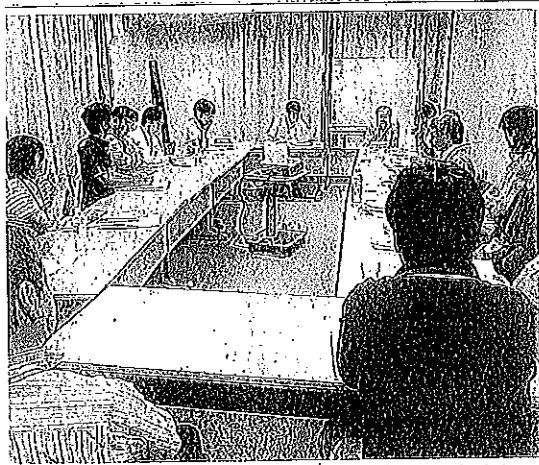
国内の商標登録を調査し、
 問題は見つからなかったと
 言うが、「(東京五輪・パ
 ラリンピックのエンブレム
 問題を受け)類似のものが
 出てきても素早く対応でき
 るようにしなければいけな
 い」と指摘している。

統一していなかったた
 め、同じ人のデータで
 も、特定健診とレセプ
 トでIDが異なるケー
 スが多かった。
 厚労省でデータの整
 理を終えている11、12
 年度は調査院が
 調べたところ、健診デ
 ータ計約4800万件
 のうち、レセプトと照
 合して同一人物と確認
 できたのは22%だっ
 た。

水俣病未解決の背景学ぶ

熊本学園大 研究者対象セミナー

水俣病研究を担う若
 手を対象にした熊本学
 園大水俣学研究センタ
 ーのセミナーが4日、水
 俣市で始まった。水
 俣病の公式確認から来



若手研究者を対象に始まった熊本学園大水俣病研究センターのセミナー＝4日、水俣市

年で60年。センター長
 の花田昌宣教授は、問
 題が解決しない理由の
 一つに行政の姿勢を挙
 げ、「住民が訴える被
 害を最初から理由もな
 く疑ってきた」と批判
 した。

花田教授は従来の補
 償・救済制度について
 「差別を恐れる人がま
 だいる。本人申請が前
 提の制度を見直すべき
 だ」と指摘。「国や県
 が住民健康調査に乗り
 出しても被害の全容解
 明には時間がかかる」
 として、不知火海沿岸
 の全住民を対象に、医
 療費を無償化する手帳
 を配布する救済策の私
 案を紹介した。

和光大現代人間学部
 2年の山崎遼太郎さん
 (20)は「水俣病問題の
 根深さを感じた。差別
 の問題を心理学的な視
 点から研究したい」と
 話した。セミナーは6

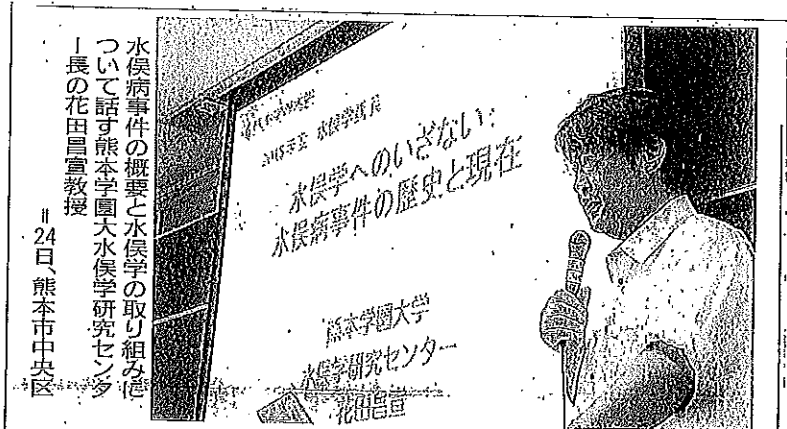
日まで。東京や新潟な
 どから約20人が参加し
 ている。(隅川俊彦)

水俣病特措法訴訟

「水銀被害の
 広がり明らか」
 熊本地裁
 原告側

水俣病特別措置法の
 未認定患者救済から外
 れたのは不当として、
 水俣病不知火患者会
 の会員が国と県、原因企
 業チッソに1人当たり
 450万円の損害賠償
 を求めた訴訟の口頭弁
 論が4日、熊本地裁で
 あり、原告側は救済対
 象地域の線引きをあら
 ためて批判した。
 県が公表した救済策
 の地域別集計を受け、
 原告側は「対象地域外
 の3761人が救済さ
 れた。水銀被害の広が
 りを示す証拠だ」と主
 張。国・県側は原告側
 が主張する遅発性水俣
 病について「根拠が乏
 しい仮説に過ぎない」
 などと反論した。
 園田昭人・原告弁護
 団長は弁論後、蒲島郁
 夫知事が「(地域外で

「水俣学」現場に学ぶ 熊本学園大
本年度講義始まる



水俣病事件の概要と水俣学の取り組みについて話す熊本学園大水俣病研究センター長の花田昌宣教授
 24日、熊本市中央区

熊本学園大 本年度講義始まる

「水俣学」現場に学ぶ

水俣病事件を多様な視点や研究領域から捉える本年度の「水俣学講義」が24日、熊本市の熊本学園大で始まった。来年1月までの計15回、患者や家族、研究者らが水俣病の体験や患者認定制度の不具合など、地域の水銀汚染などを語る。

現場に学びつつ学問の枠を超えて水俣病事件を研究しようとする故原田正純・同大教授らが

提唱し、社会福祉学部の講義として毎年度開いており14回目。初回のこの日は同大水俣病研究センター長の花田昌宣教授が水俣病事件の概要やセンターの取り組みなどを話した。

花田教授は水俣学を「地域に根ざして住民と学び、その成果を地域に返す新しい学問のモデル」と説明。海外の公害問題にも携わっている現状を話した。

「公害の原点」として、来年で公式確認60年を迎える水俣病については「今なお多くの課題が残り、過去の問題ではない」と指摘。その根幹にあるのが認定制度と正当な補償を求めて苦悩する被害者で、行政や原因企業の責任が問われているとした。

講義は毎週木曜午後1時から、自由に聴講でき、インターネットでも中継する。

(鎌倉尊信)

設定制度は「救済の壁」 学園大で
水俣学講義

認定制度は「救済の壁」

学園大で水俣学講義



水俣病の認定制度について語る熊本学園大水俣学研究センターの井上ゆかり研究助手。1日、熊本市

侯病の認定制度を取り上げ、「被害者救済を阻む権力の壁そのものだ」と語った。

井上研究助手は、被害者側が門戸の狭さを指摘している国の認定基準などを解説。本人が申請しないと認定手続きが始まらない仕組みにも触れ、「差別を恐れて申請できない人も多い。認定されるべき人が放置されている」と批判した。

「公式確認から来年で60年だが、どんな病気がめくって今なお争いがある。被害がど

ええ手際 缺一とつて若返る

一肌脱いでる恩返し

水川 河原 螢

大津

これが最近よく聞く、カリスマ美容師というの

ええ手際 あいボタン付け

だろう。常連には有名な

合志

クラブのママやタレント

夫婦喧嘩 野

が多く、きょうも予約で

いとらす

いっぱいのはずだ。

尾ノ上

ええ手際 むごう仕事の捗

一肌脱いで立ってやり

らす

宇土

八代 田畑れんげ

宇土

池田 隆雄

のような年代、地域に水俣病事件に詳しい人が多かったのかも分かっていない」とも指摘。水俣病が過去の問題ではないことを強調した。(鎌倉尊信) 講演する。

山下さんは1956年にチッソ水俣工場に入社。労組委員長などを務める傍ら、患者支援に長年携わってきた。講演では、水俣病発生当時の工場の実態や労働者の健康被害などを語る。入場無料。大会実行委 ☎080

在宅起訴へ 「公式」立件見送り

2人とも事実関係を掘がないことから、特認めている。青柳元教授は女性の立件を見送る。授が一方的に漏らし、

女性から働き掛けた証 論文式的答案は、模

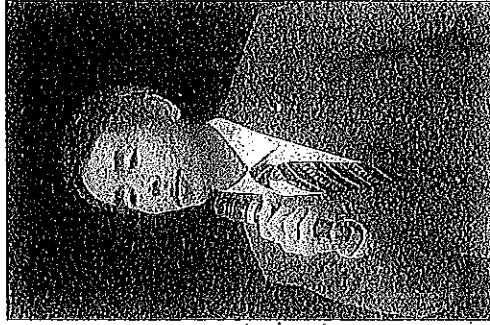
範解答を知る人物の指導がないと作成するのが困難なほど完成度が高かった。短答式も憲法分野は満点だったため不正が疑われていたが、マークシートでは偶然を完全には排除できず、漏えいを確実に裏付けられないと判断したとみられる。

日本コミュニケーション学会九州支部は3日、「環境問題とコミュニケーション」をテーマに、水俣市で支部大会を開く。午後1時から同市公民館で、

(6747)1416。

産業遺産の価値知って 学園大公開
講座 幸田学長が講演 水俣市

公開講座九州・熊本の産業遺産について講演する
熊本学園大の幸田亮一学長（水俣市）



産業遺産の価値知って

学園大 幸田学長が講演 水俣市

熊本学園大水俣学研
究センターの公開講座
「九州・熊本の産業遺
産と水俣」が6日夜、
水俣市公民館で始ま
り、幸田亮一学長が九
州・熊本の産業遺産と
その意味」と題し講演
した。

幸田学長は、同市古
賀町に残る旧日本薬業
肥料株式会社水俣工場
(1909年完成、現

江水俣工場)を「日
本の近代化に貢献した
光の部分と、水俣病と
いう公害史の厚みとあ
る影の部分を含め、歴
史的価値は高い」と評
価した。

一方、価値があまりな
がら保存運動がうまく
いかなかった例は多い
とし、世界遺産になっ
た方田坑(荒尾市)や
三角西橋(宇城市)を
成功例に挙げ、「市民
が遺産の価値に気づ
き、保存に向けた組織
づくりを進めることが
大切だ」と指摘した。

同講座は21日まで毎
週火曜日午後6時半か
ら同公民館である。参
加無料。最終日の11月
3日は、午後1時から
旧日本薬業肥料株式会
社水俣工場の見学会を
開く。水俣学研地研究
センター☎0966
(03) 50330。

(隔川俊彦)

生き

に換える例を挙げ、昔
の表現の長所を説明。
言葉を選ぶは、相手の意
や自分自身の心の在り
姿とされる」と助言し

言葉の効用を堪能するた
「必ずやまらる」と言い

患者支援 実情重視で 水俣学研究
者 学園大で講義



胎児性・小児性水俣病患者の現状について話す田尻雅美さん＝15日、熊本市中央区の熊本学園大

患者支援 実情重視で

水俣学研究者 学園大で講義

熊本学園大（熊本市中央区）で開講中の水俣学講義で15日、学園大水俣学研究センター研究助手の田尻雅美さんの必要性を説いた。

患者の介護問題に関して、田尻さんは1956年の公式確認のきっかけとなった小児性患者の田中実子さん（62）の生活を報告。自宅ヘルパーによる24時間介護が必要だが、原因企業チツソとの補償協定だけでは十分でなく、障害者総合支援法による介護を受けているという。

田尻さんは、協定の「実情に即した具体的方策を誠意をもって早急に講ずる」との前置を示し、「加害者であるチツソや国、県は、介護家族の高齢化などで多くの患者の生活が破綻していることを踏まえた支援をすべきだ」と述べた。（西島宏美）

天草エアライン
19日に運航再開

天草市五和町の天草空港に着陸した天草エアライン機の右主翼エンジンから白煙が上がったトラブルで、天草エアは15日、予備エンジンに交換後の19日に

運航を再開する

平成27年(2015年)10月23日 金曜日

熊 本 日 日 新 聞

水俣学 差別体験や苦悩語る

学園大 公式確認契機の患者家族

水俣病公式確認から
来年5月で60年。確認
のきっかけとなった患
者田中美子さん(62)は
水俣市を自宅で介護
する姉下田綾子さん
(71)が22日、熊本市の

熊本学園大で開講中の
水俣学講義の講師を務
め、家族の思いと背負
い続けてきた苦悩を打
ち明けた。
下田さんがこれまで
公の場で話す機会をほ

ほとんどなかった。水俣
病研究の第一人者だっ
た故原田正純医師は2
012年6月に亡くな
る前、「社会はもっと
美子さんに目を向けな
ければならない」と話



妹田中美子さんの近況について語る下田綾子さん(中央)。
右は夫良雄さん＝熊本市中央区

したことが背中を押し
たという。
水俣病になった妹2
人の看病に忙しい両親
に代わり、長姉の下田
さんが家事を担った。
伝染病でもないのに自
宅周辺を消毒された差
別体験などを挙げ、「残
されたきょうだいは周
りの冷たい視線に耐
え、猫の子のように肩
を寄せ合って暮らし
た」と振り返った。
下田さんの夫良雄さ
ん(67)は、一生をかけ
て田中さんを世話する
覚悟で綾子さんとの結
婚を決めた経緯を話
し、「義理の妹の世話
は苦痛ではない」と語
った。学生には「いろ
んな病気、障害の人が
いるが、決して差別だ
けはしないほしい」と
と訴えた。(石貫謹也)

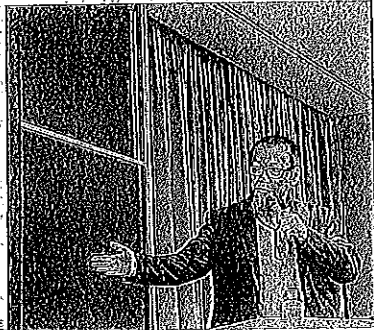
水俣学 患者、被災者支援 思い語る
学園大 NGO村井さん講義

患者、被災者支援 思い語る

学園大 NGO村井さん講義

水俣学

熊本市中央区の水俣学園大で開講中の水俣学講義は12日、被災地NGO協働センター



水俣病患者支援と被災地ボランティアへの思いを語る村井雅清さん=12日、熊本市中央区

(神戸市)の村井雅清さん(65)が、水俣病患者支援の経験と被災地でのボランティア活動

が裁判所は罰金にできる直接の規定はないが、どのように供述したのかを知る必要性が高い」として採用。懲役9年、罰金400万円

の判決を言い渡した。血涙や悪液に毒物を含まれていたか調べる測定器や試験紙の購入費として2016年度予算の概算要求に約4300万円を盛り込んだ。事件性が明らかなら犯

罪死は、検査キットを使わずに解剖して死因を調べる。金高雅仁長官は12日の記者会見で同事件について「被害者の遺体を取り扱った

にみもかわらず、犯罪性を見破れなかった」と認め「認知がなければ検挙もあり得ない。犯罪死の見逃し防止を徹底する」と強調した。

にしている」と批判した。被災者に足湯を提供し、体験を語ってもらう活動を「心の自立の第一歩」と表現。公式確認から来年で60年を迎える水俣病は「患者ら当事者が語り続けているからこそ国内外で注目される」と話した。(鎌倉尊信)

に共通する思いを語った。村井さんは胎児性患者の故上村智子さんとの出合いを振り返り、「どうして日本の社会で、こんな理不尽なことが起こるのかと思った」と回顧。水俣病問題が、阪神・淡路大震災後に取り組む被災者支援の原点になったと語った。「経済成長に突き進み、命の尊さを無視した戦後の社会構造が水俣病を起した」と指摘。東京電力福島第一原発の廃炉に向け、建

屋周辺の地下水を海に放出する汚染水低減策について「東電や国の論理を通すため、またも海や漁民を犠牲

またメール誤送信

熊本市 県内企業258人に

熊本市農商工連携推進課は12日、県内企業の258人に対し、全員のメールアドレスが見られる形で、情報提供メールを一通送信するミスがあったと発表した。市は10日にも同様の送信ミスがあったと発表したが、4農商工連携推進課によ

「患者の温かさに触れた」 水俣学
講義 映画製作の山上さん

「患者の温かさに触れた」

水俣学講義 映画製作の山上さん



自身の人生に影響を与えた水俣病との
出合いを話す山上徹二朗さん
19日、熊本市中央区

熊本市の熊本学園大
で開講中の水俣学講義
は19日、同市出身の映
画プロデューサー、山
上徹二朗さん(81)と東
京都が「高校時代に
水俣病と出合い、その

後の自身の人生に大き
く影響を与えた」と語
った。
山上さんは済々黉高
在学中、水俣病1次訴
訟の集会に参加。上京
して患者らと一緒に1

年8カ月、チツソ東京
本社前で座り込んだ。
「農業や漁業を手伝っ
中で患者の温かさに触
れ元気をもらった。生
活を支えているつもり
だったが、自分が学ぶ
ことの方が多かった」と
振り返った。

最新作のドキュメン
タリー映画「沖繩 う
りずんの雨」の一部も
放映し、戦時中の諷谷
村での集団自決や戦後
は米兵の性暴力の実態
を説明。米軍普天間飛
行場の辺野古沿岸移設
にも言及し、「自分の
問題と考え、沖繩で起
きていることを知って
ほしい」と呼び掛けた。
(鎌倉尊信)

自然資本 住民が活用を水俣学 宮
北教授が講義 学園大



「水俣病問題には地方に犠牲を押し付ける構図があった」と語る宮北隆志教授
=26日、熊本市中央区

自然資本 住民が活用を

水俣学 宮北教授が講義 学園大

熊本市中央区の熊本
学園大で開講中の水俣
学講義は26日、学園大
水俣学研究センターの
宮北隆志教授が水俣病
発生当初の行政やチツ
ソの対応について、「人
命より経済を優先し、

中央が地方に犠牲を押し
付ける構図があった」
などと言った。
宮北教授は1949
年57年ごろ、水俣市で
魚介類やネコに現れた
異変を軽視し、公式確
認翌年の57年に食品衛

生法による水俣湾の漁
獲禁止を見送ったこと
などを批判。「健康被
害が現れてからでは遅
い。一人一人の命の尊
厳が保たれる社会を
実現しなければなら
ない」と訴えた。

中央主導の開発や工
業化が地域の発展を阻
害する事例として、夕
イやミャンマーの現状
を紹介。「水俣病事件
や原発事故に象徴され
る社会経済システムと
決別し、海や川など自
然資本は地域住民が活
用を決める仕組みを目
指すべきだ」と強調し
た。
(鎌倉賢信)

2015/12/04

金曜日

熊本日日新聞

朝刊

28面 12 段

埋め立て地の水銀除去訴え 水俣学
講義

くまで立て替え払い」とJ-Aに伝えた上で全額を払ったという。

(中村勝洋)

埋め立て地の
水銀除去訴え

水俣学講義

熊本市中央区の水俣学園大で開講中の水俣学講義は3日、学園大水俣学研究センターの
中地重晴教授が登壇した。水銀による健康被害防止を目的とする「水銀に関する水俣条約」を踏まえ、水俣湾埋め立て地に残る水銀の除去の必要性を訴え

た。

埋め立て地は、水俣病の原因企業チソが排出した水銀を含む汚泥約151万立方メートルを封じ込めている。

中地教授は「水俣条約は汚染場所のリスク評価や修復などを盛り込んでいる。まずは水銀や埋め立て地護岸の現状を調べるべきだ」と主張。「護岸の補修などを続けて水銀をそのまま残すより、除去など抜本的対策の議論が必要な時期だ。次世代にツケを回してはいけない」と述べた。

(鎌倉尊信)

公害の共通課題指摘 水俣学 菅井
国学院大教授が講義 学園大



公害の歴史を振り返り、共通する課題を指摘した国学院大の菅井益郎教授

＝熊本市中央区

公害の共通課題指摘

水俣学 菅井国学院大教授が講義

学園大

熊本学園大（熊本市中央区）で開かれていた水俣学講義は10日、国学院大（東京）の菅井益郎教授（69）が公害の歴史を振り返り、足尾銅毒

の初公判で動機を語り、うなだれた。青柳被告は紺のスーツ姿で入廷。裁判官に問われ、名前や本籍をよどみなく答えたが、検察側が起訴状の朗読を始めると、まっすぐ前を向いていた顔が次第こうつじき川成こぼ

一人者としてのプライドをにじませる場面も。裁判官が「なぜ漏れいの重大性に思いが至らなかったのか」と強い口調で問うと、「彼女への気持が先行してしまっただけのさびさ、黙り込んだ。

発事故に共通する課題を指摘した。菅井教授は、足尾銅毒事件解決に奔走した田中正造の「デンキ開ケテ、世間暗夜となれり」という言葉を紹介。「福島原発事故の直後に思い浮かんだ。正造は100年後を見通していた」と話し、原発の再稼働を批判し

公害の共通課題としては、過ちを認めない官僚や企業、それらを擁護する科学者の存在を挙げ、「被害が発生するまで対策を取らなかった」と指摘した。原発事故の補償について、門戸が狭い水俣病患者の認定基準を例に挙げ、「症状や居住

区域などを全て限定的にすると、福島でも補償されない人が出てくる」と警告した。（石貫謙也）

90歳の女性に予防接種ミス 甲佐町 甲佐町は9日、町が予防接種を委託している医療機関で11月、90歳女性に規定よりも1

君は偉い 成功しても変わらんない

八分字 青木 精一
少々偉くなったからとのけずるのがいるが、陰では笑われている。いまへのけずって 違つて道教えられへてな目にも遭いかねない。

慌ただしさ お茶も飲まずにはたかす

八代 葉 月

じりじりと 女心に気づいてよ

天草 松田 駄賃
じりじりと 屋敷に迫る竹林

玉名 斉藤 老仁
慌ただしさ 急に転動言われたつ

合志 福田 遊心
慌ただしさ 正月までに仕上げなん

長洲 坂井 正笑

君は偉い 君は偉い 欠席 八景
明るいわ 明るいわ 明るいわ 明るいわ
結構な 頼み 清

正しい情報 世界発信を 水俣学
大津神戸大名誉教授が講義 学園大



「世界には水俣病を間違っ
て捉えている人がいる」と話し
た大津定美名誉教授
=17日、熊本市中央区

正しい情報 世界発信を

水俣学 大津神戸大名誉教授が講義 学園大

熊本学園大(熊本市
中央区大江)が開講す
る水俣学講義は17日、
神戸大の大津定美名誉
教授(77)が国際経済学
が登壇し、「世界か
一年に「水俣病を告発す

る会・京都」に加わり、
水俣病訴訟の原告団を
支援してきた。
イギリス留学などヨ
ーロッパやアジアで経
済を学び、多くの国の
研究者と交流してきた
が、「日本は戦後の経
済成長でよく頑張った
と言われたが、水俣病
のような犠牲の上に成
り立っていると伝えて
きた」と強調。
家族ぐるみの付き合い
合というミャンマーの
アウン・サン・スー・
チー氏でさえ「水俣病
患者が金銭目的のみで
裁判をしていると誤解

していた」とし、「水
俣病を正しく知って
らう情報の発信が重要
だ」などと述べた。
(西島宏美)

優秀警察職員表彰
東署の田中警部補
九州管区局長賞詞

九州管区警察局は17
日までに、2015年
の優秀警察職員16人を
表彰した。熊本県警は



田中寛二警部補

「国との闘いの歴史」水俣学 熊本
放送井上さん講義 学園大



水俣学講義で話す熊本放
送の井上佳子さん
=7日、熊本市中央区

「国との闘いの歴史」

水俣学 熊本放送井上さん講義 学園大

熊本市中央区の熊本
学園大で開かれている
水俣学講義は7日、水
俣病やハンセン病など
を取材してきた熊本放
送のチーフディレクタ
ー井上佳子さん(55)が
講師で登壇し、「水俣
病は国との闘いの歴史
だった」と話した。

井上さんは水俣病事
件の中で国家を強く意
識した出来事として、
チソン水俣工場の排水
の放置や見舞金契約、
2度の政治決着による

事件の「幕引き」、水
銀に関する研究の遅れ
などを列挙。「日本は
命を大切にしていなか
った」と訴えた。

その上で「自分がチ
ソンの社員だったら」
などと自問することの
大切さも強調。現在、
関心があるテーマとし
て2世代にわたって患
者を支援している人を
挙げ、「親の価値観を
きちんと受け継いでい
る。取材してみたい」
と述べた。(石貫謙也)

2016. 1. 8

金曜日

熊本日日新聞

朝刊

26 面 10 段

◆あすから水俣病事件交流集会
9、10日、水俣市公民館

◆あすから水俣病研究交流集会

水俣病研究者らが一堂に集まる水俣病事件研究交流集会が9、10日、水俣市公民館で開かれる。今年の水俣病の公式確認から60年で、主催する熊本学園大水俣学研究センターは「課題が山積する現状を知ってほしい」と参加を呼び掛けている。9日は午後1時に始まり、戦前からチッソ水俣工場で働いた元労働者や1960年代の地域の様子を知る元教師らが証言。10日は午前10時から医学者の報告などがある。資料代千円。同センター ☎096(364)8913。

い 水俣市

当にうれしい。この会
は光として記憶される
べきだ」。作家石牟礼
道子さんは「みなさん

の亡くなった両親や兄
弟も今日はかりは心
んでおられるでしょ
う。気高い心を分けて
いただき、私も一緒に
生きていきたい」とメ
ッセージを寄せた。
患者らは節目を祝う
ケーキに入刀、熊本市
出身のフルート奏者栗
谷かずよさんの演奏が
花を添えた。

(隅川俊彦)



チッソの同僚が水俣病に襲われた状況を語る中村和博さん=9日、水俣市

事件の記憶 後世に

50~60年代 関係者、当時を証言

水俣病研究者らが一
堂に集まる水俣病事件
研究交流集会在9日、
水俣市公民館で始まっ
た。今年水俣病公式
確認から60年となり、
事件の記憶を後世に
残そうと、1950年
代60年代の水俣を
知る人が相次ぎ証言し
た。

水俣病は当初、伝染
病のように扱われて差
別を招いた。当時、市
衛生課の職員だった湖
上英明さん(84)は同市
に患者を伝染病患者
の収容施設に移すなど
した経緯を振り返り、
「今考えると間違いた
った」と話した。

原因企業チッソの労
働者だった中村和博さ
ん(92)は同市は、チ
ッソ内部にも水俣病に
なった人がいたことを
報告。「加害企業にい
たことが悲苦しかっ
た」と述べ、会場の患
者に「ごめんなさい」
と謝罪した。

自身を含めて家族4
人が水俣病に襲われた
坂本フジエさん(90)は
同市は「チッソの言
うままに低額の見舞金
契約を結ばされた」と
強調。看護師として移
動診療所の導入に尽力
した堀田静穂さん(75)
は北九州市は患者を
生活の現場で診る大切
さを訴えた。

(石貫謙也)

集会最終日の10日は
医学者の報告などがあ
る。資料代千円で誰で
も参加できる。
八代市で民家全焼
9日午後2時ごろ、
八代市日奈久山下町、
無職山崎邦春さん(53)
方から出火、木造平屋
約45平方メートルを全焼し
た。
八代署と八代広域消

2016/01/23

土曜日

熊本日日新聞

朝刊

25 面 13 段

水俣病60年 水銀汚染 繰り返さない
水俣市であすシンポ

水俣病の患者団体や市民団体など約20団体でつくる水俣病公式確認60年実行委員会（代表・上村好男水俣病互助会長）は24日、水俣市公民館で水俣病事件の問題点を問うシンポジウムを開く。無料。

3月まで月1回開く連続シンポジウムの第1弾。患者補償の基盤となった水俣病1次訴訟の原告だった上村会長と坂本フシエさんが「水俣病60年をふりかえる」と題して話す。

水俣病
60年

水銀汚染 繰り返さない

水俣市であすシンポ

中地重晴・熊本学園大教授（環境化学）が水銀ヘッドを閉じ込めた水俣湾埋め立て地の課題などを講演し、水銀分析の世界的権威の赤木洋勝・国際水銀ラボ所長らが「水俣病を繰り返さないために何が必要か」のテーマでパネル討論する。

実行委は、健康被害と環境汚染の全体像の解明、被害実態にあった補償制度の確立、水銀汚染の根絶などを目的に結成した。午後1時半開演。水俣ほたるの家
☎0966(63)8779。

「水俣条約」締結を閣議決定 水銀削減 日本の役割重く 熊本学園大研究センター 中地教授「原点の地」と向き合え

「水俣条約」締結を閣議決定

政府は2日、「水銀に関する水俣条約」の締結を閣議決定した。2013年10月に水俣市と熊本市で開かれた外交会議で条約が採択され

て2年余り。日本は23番目の締結国となる見通し。50カ国の締結を必要とする条約発効の見通しが立たない中、世界最悪のメチル水銀汚染となった水俣病は16年5月、公式確認60年を迎える。各地の水銀汚染を調査研究する熊本学園大の取り組みや、条約交渉に携わった環境省担当者へのインタビューなどを通じて、水銀削減に向けた課題を考える。【1面参照】

水銀削減 日本の役割重く

熊本学園大研究センター 中地教授

「原点の地」と向き合え

水俣病研究者の故原田正純医師らが2005年4月に立ち上げた熊本学園大水俣病研究センター（熊本市中央区）は、開



中地重晴教授

設から10年が経過した。この間、水俣病のような水銀被害を繰り返さないよう、海外での調査研究やフォーラムなどを開

備。「水銀に関する水俣条約」の締結を閣議決定した日本について、同センターの中地重晴教授（環境化学）は「まだ果たすべき役割が残っている」と訴える。

バルブ工場から排出された水銀によって健康被害が生じたカナダ中部の先住民居留地は、原田医師らが1975年に初めて調査した。その後も同センターが住民検診や環境調査などを続けてい

同センターによると、工場の下流域に生息する川魚には、いまま高濃度の水銀が蓄積。排水は70年ごろには止まってお

上国に対する説得力を欠くとして、同センターは経済協力開発機構（OECD）に加盟する約30カ国の動向に注目してい

る。排出された後の回収の難しさが指摘されている。砕いた鉱石から金を抽出する際に水銀を使う小規模金採掘は、多額の資金を要しないこともあってアジアやアフリカなど世界各地に拡大している。同センターも関わったインドネシアのワークショップでは、無機水銀による中毒症状が住民に現れたとの報告があった。

アジアの各地では、たぬ池で食用の魚を飼育する例が少なくない。水銀が流れ込んで魚が有毒化すれば、水俣病が発生する恐れがあり、魚の水銀濃度や住民の摂取量を調べるのが急務だとい

条約発効には50カ国の締結が必要。国連環境計画（UNEP）は当初、採択から3年以内の発効を目指していたが、締結が広がらないまま既に2年が経過した。先進国が積極的に締結しないと途



水銀値を調べるため住民の毛髪を採取する熊本学園大での調査員。2014年、カナダ・ホワイトトング

水俣病60年 埋め立て地の水銀回収を 患者ら 海の汚染テーマに議論

(第3種郵便物認可)



水俣病公式確認60年実行委が開いたシンポジウムで、海の汚染をテーマに議論するパネリスト＝水俣市

埋め立て地の水銀回収を

患者ら 海の汚染テーマに議論

水俣市

水俣病 60年

水俣病患者団体などでつくる水俣病公式確認60年実行委員会（代表・上村好男水俣病互助会長）は12日、水俣市のもやい館でシンポジウムを開き、水俣湾と不知火海の汚染と今後の課題などを議論した。

熊本学園大の中地重

晴教授（環境化学）が「水銀ヘッドロが封じ込められた水俣湾埋め立て地は、護岸の更新ではなく中の水銀を回収し、別の場所で永久保管すべきだ」と主張。海底の泥や原因企業チッソの産業廃棄物が埋められた水俣市内の土壌も調査し、対策を講じるべきだと指摘した。

患者の上村代表（81）は、3月27日午後1時半から水俣市公民館で開く。 （隅川俊彦）

実行委によるシンポジウムは2月に続き2回目。最終回の3回目は、3月27日午後1時半から水俣市公民館で開く。 （隅川俊彦）

2016/04/15 金曜日

熊本日日新聞 朝刊

23 面 9 段

水俣学ブックレット14 九州・熊本の産業遺産と水俣 好評発売中

水俣病事件をさまざまな視点から再検証し、現代社会が抱える問題に迫る「熊本学園大学・水俣学ブックレット」シリーズの最新14作「九州・熊本の産業遺産と水俣」を好評発売中です。

昨年10～11月に水俣市で開催された4人の専門家による水俣学公開講座を採録。九州における産業遺産の現状とその活用状況をほじめ、水俣に残るチソン旧工場の産業遺産としての価値なども探りました。

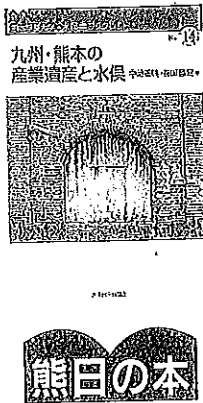
お求めは書店、熊日販売センター、熊日支

水俣学ブックレット14
九州・熊本の産業遺産と水俣

好評発売中

社・総支局、または熊日出版窓096(361)3274へ。

【企画】熊本学園大学水俣学研究センター
【編者】中地重晴、花田昌宣【体裁】A5判
152頁 【定価】800円＋税【発行】熊
本日日新聞社【制作・発売】熊日出版



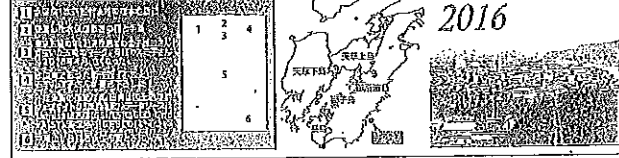
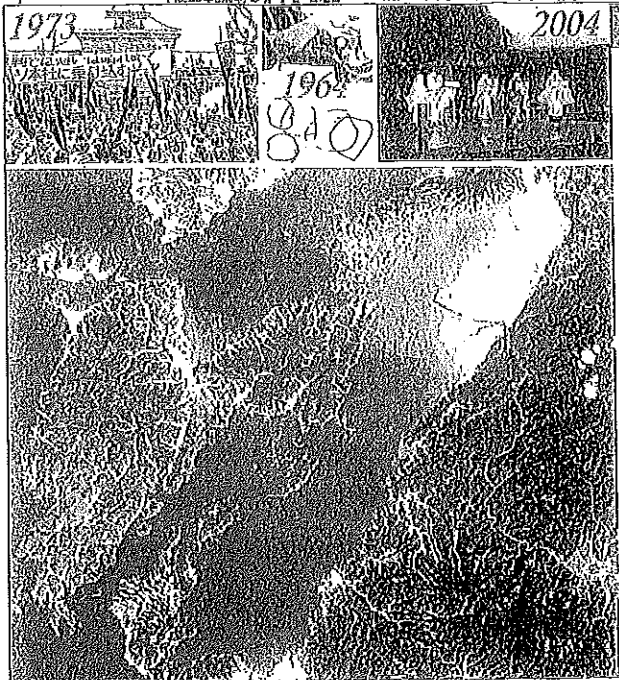


断たれた命の循環

論説主幹 高峰 武

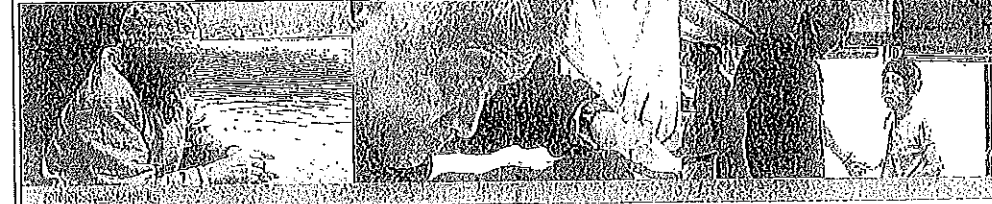
歴史見通す眼差しを

水俣病は、1960年代後半、熊本県水俣湾に所在したチッソ（現・チッソ化成工業）の工場から排出された有機水銀が、魚介類を通じて蓄積され、住民に健康被害をもたらした。公式確認から60年、人生を生き抜いてきた水俣の子は、現代を生きる私たちに命の重みを伝えている。かつて「魚肝油」と呼ばれた魚が原因で発生した水俣病、チッソが製造したメチル水銀で汚染された魚、その毒でとれた魚を食べた人々に病気が広がった。日本の高度経済成長を支えたチッソ、豊かな生活を求めた社会の陰には、犠牲となった多くの子どもたちがいた。公式確認から60年、人生を生き抜き、苦闘を経てきた水俣の子は、私たちに何を伝えているのか。



INDEX

- 水俣創始へ 闘く世界
- 水俣創始へ 闘く世界
- もったいなく 水俣病
- 島根住世代の 被害調査を
- 熊本 坂本しのぶさんの60年
- 石牟礼道子さん 不知火舟を偲ぶ



生きた伝説

「水俣の子」の60年

水俣病公式確認のきっかけとなった少女。
 遡層を迎える胎児性患者。
 水俣病と認めてもらうために闘う女性。
 それぞれの60年を生き抜いてきた水俣の子は、現代を生きる私たちに命の重みを伝えている。

KKT

5月1日(日) きょう深波0時55分

2016.6.3

水俣病に関する新たな資料が見つかった。原因企業チッソ（当時は新日本窒素肥料）が1958年、原因究明を進める熊本大に対し、亡くなった患者を解剖した場合に脳や内臓を研究の材料として半分譲るよう求めていたという文書だ。

当時の西田栄一・水俣工場長が淵健之・熊本大学長にあてたものだ。社名入りの上質な紙で、学長の決裁印も押されている。個人的にひそかに打診した、という類いのものではなく、会社から大学への公式な依頼であることが見取れる。

文書には、チッソ付属病院に入院中の女性患者が重症で病状の見通しも悪いとして、死亡後に「貴方で解剖される場合は奇病研究資料として弊方に是非その解剖資料（脳その他の内臓）の半分を分譲して戴きたく存じます」と記されている。

女性はその後しくなり、熊本大が解剖した。遺体の一部をチッソ側に譲ったかどうかは不明だが、患者の

射程 地震がもたらした新資料

死亡を待つかのような無神経な要求に驚かされる。

なぜ、チッソは患者の遺体の一部を手に入れたかったのか。

当時は熊本大の研究によってチッソの工場排水が原因と疑われていたが、チッソは否定していた。59年に熊本大が有機水銀説を発表すると、チッソは「使用しているのは無機水銀であり、化学的常識からみて疑問」とする見解を真議会に出すなど、化学業界の協力も得て「科学」の名の下に大々的な反論を展開していく。遺体の一部を熊本大以外の研究機関に持ち込んで分析し、反論の材料を得ようとした可能性がある。

文書は、熊本学園大の書庫に眠っていた。熊本地震で散らかった書庫を片付けていた職員が、偶然見つけた。未曾有の災害が、思わぬ形で水俣病の歴史の一端に光を当てた。

公式確認から今年で60年を迎えた水俣病。だが、その闇はいまだに深いようだ。（久間孝志）

2016/07/23


土曜日

熊本日日新聞

朝刊

28 面 6 段

水俣病60年 患者らの証言 集める
水俣学ブックレット15作目



水俣病60年の
歴史の証言と今日の課題
花田昌宣・中嶋道子

新しい水俣学ブ
ックレット「水俣病
60年の歴史の証言
と今日の課題」の
表紙

水俣病
60
年

患者らの証言 集める

水俣学ブックレット15作目

熊本学園大水俣学研究センター（熊本市）の水俣学ブックレット15作目「水俣病60年の歴史の証言と今日の課題」が熊本日日新聞社から刊行された。水俣病が公式確認された60年前を知る患者らの証言などを集めた。

第1部は今年1月、水俣市で開かれた集会での発言を収録。長女を亡くすなど家族ぐるみで被害に遭った同市の患者坂本フジエさん(91)は「親として経験したつらさは誰にも分かってもらえない」と語っている。

水俣病の発生当初を知る元市職員や元チツソ労働者らも証言。第2部にまとめた研究者3人の論稿で同センターの花田昌宣教授は、被害者が自ら申請しないと救済されない制度の問題点を指摘した。864円。各書店で発売中。

(石貫謹也)

2016/09/04
熊本日日新聞

日曜日
朝刊

6 面 6 段

読書 熊本のほん 「水俣病60年の歴史の証言と今日の課題」 花田昌宜、中地重晴編(熊本日日新聞社・864円)

熊本のほん

「水俣病60年の歴史の証言と今日の課題」

花田昌宜、中地重晴編

熊本学園大学・水俣学ブックレットの15冊目。水俣病公式発見から60年にあたり、患者たちの生を闘いの歴史が刻まれた時の流れの意味を考える。「水俣病の歴史の証言」「水俣病の今日の課題」の2



部構成。

第一部は、今年1月の第11回水俣病事件研究交流集会での特別セッション「水俣病60年の歴史の証言」の講話記録。水俣病患者、水俣市職員、赤ツツの工場労働者、支援者などそれぞれ立場の異なる人々

が語る。

第二部では、現在の水俣病と水俣をめぐる課題として、三つの論者「水俣病の補償・救済制度の限界」(田尻雅美)、「水俣市に残された水銀による環境汚染」(中地重晴)、「水俣病公式確認60年・何が必要か」(花田昌宜)を収録。水俣病がなぜ終わらないのか、何が必要なのか納得させられる。

円) (熊本日日新聞社・864

2016/09/22 木曜日

熊本日日新聞 朝刊

28 面 1 段

「熊本地震と水俣」 27日から連続講座 水俣市で学園大

層 序 系

「熊本地震と水俣」27日から連続講座
水俣市で学園大

熊本学園大水俣学研
究センターは27日か
ら、水俣市公民館で災
害時の障害者支援や避
難所運営などをテー
マにした公開講座「熊本
地震と水俣」を開く。
10月25日まで毎週火曜
日の全5回。

熊本学園大(熊本市)が
地震後に開設した避難
所の運営に当たった花
田昌宣・水俣学研セ
ンター長や、日本の防
災研究の第一人者であ
る河田恵昭・関西大社
会安全研究センター長
らが講師を務める。

午後6時半～8時半
で、無料。全回受講で
修了証を発行する。水
俣学現地研究センター
☎0966(63)5
▽同日、河田氏「熊本
030。講師などは次の通
り。

▽27日 和田要・学園
大教授「益城町の被災状
況」▽10月4日 天野和
彦・福岡大うつくしまふ
くしま未来支援センター
特任准教授「地域を創る
▽同日、河田氏「熊本
地震から復興と次の地震
にどう備えるか」▽同18
日 花田氏「困難を抱え
る被災者への支援体験」
▽同25日 東後裕・学園
大教授「被災した障害者
に対する支援とその取り
組みから見えてくるもの

2016/09/28

水曜日

熊本日日新聞

朝刊

27 面 7 段

水俣病60年 水俣学講義 あすから
来年1月まで、熊本学園大

水俣病事件から多角的に
学ぶ本年度の水俣学講義が
29日、熊本市中央区大江の
熊本学園大で始まる。一般
を受け入れるほか、インタ
ーネットで講義を中継。学
園大水俣学研究センター

水俣病 60年

は、幅広い聴講を呼び掛け
ている。

今年で15期目。水俣病公
式確認60年の節目であるこ
とから、60年を振り返るよ
うな講義内容となっている。
遠征を迎えた水俣市の

水俣学講義 あすから

胎児症患者 坂本しのぶさ
んらが週替わりで講師を務
める。

来年1月まで15回で、祝
日と年末を除く毎週木曜の
午後1時～2時半。ネット
中継や講義日程は同センタ
ーのホームページで見ると
ができる。花田昌宣教授
は「今なお課題が山積する
現状を伝える機会にした
い」と話している。同セン
ター ☎096(364)8
913。(石貫謙也)

来年1月まで、熊本学園大

2016/10/6

木曜日

熊本日日新聞

朝刊

26 面 5 段

水俣病地位訴訟 花田学園大教授原告側の証人に 大阪地裁

水俣病地位訴訟
花田学園大教授
原告側の証人に
大阪地裁

水俣病関係訴訟の勝
訴原告に対し、原因作
業者らが患者認定は
伴う補償を拒むのは不
当として、原告2人の
遺族が補償を受ける地
位にあることを求めた
訴訟の目頭弁論が5
日、大阪地裁であった。
同地裁は熊本学園大水
俣病研究センターの花
田昌宣教授を証人採用
することを決めた。

原告側は3月、花田
教授ら3人に対し、証
人申請していた。認定
患者の坂本マサミさん
は、川水俣病センター
後援者らに対し、最高補
償額を求め、原告2人の
間の証人申請は認め
た。次回弁論14日に花
田教授を言問した後、
来月2月に結審するこ
とも決めた。

（石川善也）

水俣病60年 第4部 見えぬ全容 胎児性世代の被害は今① 自己批判した原田医師 患者「限定的に捉えた」

患者「限定的に捉えた」

60年前、水俣病は「小児奇病」として県衛生部に届けられた。メチル水銀の健康被害がいち早く顕在化したのは、子どもたちだったからだ。しかし、近年になって「社会が認識してきた子どもの被害はごく一部の重症者に限られ、多くの被害が見逃されてきた」という声が強まっている。

見えぬ全容

胎児性世代の被害は今①

自己批判した原田医師



自分が水俣病なのかどうか検査を受けに来た女性の神経症状を調べる晩年の原田正純医師＝2008年、水俣市

母親の胎内で、毒物のメチル水銀を浴びた胎児性水俣病患者。その存在を明らかにしたのは、2012年に17歳で亡くなった原田正純医師だった。「胎児は毒物を通さず」というのが医学界の常識だった時代。1964年に原田医師が発表した論文は、胎児性水俣病の詳しい臨床報告として世界初で、翌年に日本精神神経学会賞を受賞した。ところが、原田医師は09年、復讐させた論文に加え、解説で被害を限定的に捉えていたと自己批判した。患者の発症を時間的・地理的に限定したことや、症状が重い脳性まひ型に限定したことを過ちと断言。「重症者の底辺にいる軽

症者に思いを巡らすべきだった」と後悔の言葉を述べた。実際、行政が水俣病と認定した認定患者のうち胎児性をはじめとする若い世代は少ない。県は若い世代の患者認定を審査する場合、胎児性も含めた「小児水俣病の判断条件」を加味する。対象となる53年以降の出生者は、県がこれまで認定した患者1789人中、わずか70人しかない。熊本学園大水俣病研究センターが所蔵する09年代半ばの資料でも、熊本県と鹿児島県が認定した患者計約2200人のうち、戦後生まれは150人に満たない。

「政府が68年に公害認定する前、胎児性も小児性の患者は半数近くだった。原因企業内から患者を支えたチッソ水俣工場第一組合の元委員長で、水俣病研究を続ける岡本達朗さん(81)は東京都清瀬市。『は現状と比べ、『重症者の裾野に広がる被害を誰もが見逃してきた』と訴える。」

原田医師は晩年、自らに課した宿題を解くかのように、裾野の被害解明に取り組んだ。09年には、反省を踏まえた新たな論文を発表し「取り残された胎児性世代」の見えがたい「症状」の実態解明が重要だと強調。100例を目標に胎児性世代の臨床例を積み重ねる研究も進めたが、半分近くに達したところで病に倒れた。

「胎児性の研究を進めようにも、先生を取り巻く環境がなかなかつぎやめてくれなかった」。熊本学園大水俣病研究センター長を務める花田昌宣教授(64)は、原田医師の研究者人生を振り返る。

水俣病をめぐる一連の裁判では、医学界から患者を支援、三池炭鉱じん燃発による一酸化炭素(CO)中毒やカネミ油症のほか、海外の水銀汚染の被害者からも頼りにされ、対応に追われた。さらに、患者認定をめぐる行政との争いは後年まで続いた。

「認定問題にあれば長時間を割かれずに済んでいたら、胎児性世代の被害解明にもっと没頭できたかもしれない。花田教授はそう考えている。」

(石貫謙也)

2016/12/09

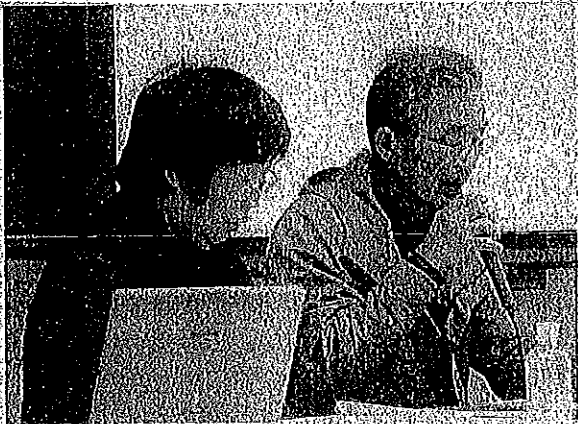
金曜日

熊本日日新聞

朝刊

28 面 9 段

水俣病60年 小児性患者 半生語る
水俣市・岩本さん 学園大で講義



小児性患者 半生語る

水俣市・岩本さん 学園大で講義

水俣病 60年

熊本学園大（熊本市中央区）で開かれた水俣病60年水俣学講義で、8日、水俣病出欠訴訟原告で患者の岩本昭則さん（66）と妻の敏子さん（66）とも

熊本学園大の水俣学講義で差別を受けた経験を話す小児性水俣病患者の岩本昭則さん（右）と妻の敏子さん＝8日、熊本市

熊本学園大（熊本市中央区）で開かれた水俣病60年水俣学講義で、8日、水俣病出欠訴訟原告で患者の岩本昭則さん（66）と妻の敏子さん（66）とも、昭則さんは患者多発地帯の漁師一家の出身で、水俣病が公式確認された1956年に発症した小児性患者。入院先の病院から通学した小学生時代は、「一級友は『奇病だから寄ってくるな』といじめた。私付学校でも、病院でも独りぼっちだった」と振り返った。就職後も、水俣病と知られるたびに居づらく、何度も転職せざるを得なかったという。

患者といふことを隠してきた岩本さんは3月、患者団体の水俣病互助会の総会で、初めてのつらい経験を吐露。以来、95年の政府解決策の対象となった敏子さんの支えで、講演などを続けている。

（岡川俊彦）

水俣病60年

水銀量調査等報告 研究交流集会在
閉幕 水俣市

水銀量調査など報告

研究交流集会在水俣市閉幕

水俣病60年

水俣市公民館で開かれた水俣病事件研究交流集会在最終日の8日、水俣市民の普段の食事に含まれる水銀量調査の中間報告などがあつた。

熊本学園大水俣字研究センターの中地重晴教授(環境化学)らは2016年3月、水俣市の成人男女5人から3日間、計9食分の食事を提供してもらい、水銀量を測った。

胎児を保護する目安とされている1日の水銀の摂取量は、体重1kg当たり0.23μg。

測定の結果、5人中3人の食事が目安を上回り、最大で0.26μg

だった。5人は主に地元産の魚介類を食べていたという。

中地教授は「ただちに健康被害と結び付けることはできない」とした上で、「水俣湾の魚の水銀濃度は現在も高い。16年11月に実施

した調査の分析も踏まえ、関連を詳しく調べたい」と語った。

医学を巡る議論では「毛髪水銀値が50μg以上でない」と水俣病を発症しない」という国の主張に、「50μg未満の認定患者もいる」「毛髪水銀は過去の暴露を示すものではない」と批判が相次いだ。

(石貫謙也)



水俣病を巡る医学の課題について会場からの質問に答える医師ら11日、水俣市

水俣病60年 「本年度の水俣学講義」終了 熊本学園大

患者理解する医師少ない 差別の視点で見直しを

本年度の「水俣学講義」終了 熊本学園大



水俣学講義で本来の不安などを訴える坂本しのぶさん(左)。隣は文壇者の谷田布子さん。2016年10月、熊本市中央区

患者理解する医師少ない 差別の視点で見直しを

講師ら訴え

水俣病 60年

水俣病事件から多角族にいつまでも迷惑を掛けれない」と述べ、
「水俣学講義」は2016年度、予定されて16年度、予定されていた全16回の講義が終了した。学内、学外の講師はそれぞれ立場から、公式確認から60年が経過しても解決しない水俣病の課題を訴えた。

厚層を迎え、歩行などの身体機能が低下しているという胎児性患者の坂本しのぶさん(60)は、水俣病は「家族にいつまでも迷惑を掛けれない」と述べ、
「患者を理解してくる医師がいない」と強調、施設は少ないと指摘、自宅を出て施設に入所することへの不安を口にした。

部会研究 所(大阪市の谷川雅彦)所長は「差別被害とこの視点から水俣病を捉え直さなければならぬ」と指摘。多くの患者を診察してきた協立クリニック(水俣市)の高岡滋医師は、国や県が主張する水俣病の医学を「調べない」「データを取らない」と多様な症状もはらばらに論じていると批判した。

東京・水俣病を発生させる会の久保田好生さん(66)は「直江やチッソ本社がある東京は、患者にとって大事なフィールドだった」と東京で患者支援を続けた意義を語った。学園大の宮北隆志教授は「中央から見下された地方に犠牲が押し付けられた」と説明。水俣病の権力が福島原発事故や沖縄の基地問題に似通っていることを指摘した。

締めくくりに講義を担当したのは、学園大水俣学研究所センター長の花田昌彦教授。カチの夕の先住民が被害に遭っている水銀汚染の調査結果を報告しながら「国内外を問わす、この60年の真の経験を将来に生かさなければならぬ」と呼び掛け

た。(右頁謹也)

2017.02.11

土曜日

熊本日新聞

朝刊

24 面 9 段

水俣病60年 カナダ水銀被害テーマ
にシンポ

18、19日県内二カ所

カナダ水銀被害 テーマにシンポ

18、19日 県内2カ所

水俣病 60年

カナダの先住民居留
地で起きた水銀汚染に
ついて考えるシンポジ
ウムが18、19日、県内
2カ所で開かれる。熊
本学園大水俣学研究セ
ンターが水俣病の公式
確認60年に合わせ、先

住民5を招く。
居留地はオンタリオ
州の2カ所。製紙工場
が水銀を川に流し、魚
を食べた先住民が健康
被害を受けた。故原田
正純医師が1975年
と76年の調査を踏ま
え、世界で初めて被害
を報告した。

本市中央区の熊本学園
大で。先住民や同セ
ンターの研究者が居留地
の現状を報告する。19
日は午後1時から、水
俣市公民館で。水俣病
被害者らも加わり、補
償の在り方などについ
て議論を深める。
参加無料。同センタ
ー ☎096(364)
8913。

水俣病60年 カナダの水銀被害訴え
熊本市でシンポ

先住民「川に沈殿」

水俣病60年
水俣の構図そのまま

魚、犬、猫に前兆 認定を巡る混乱

水俣病 60年

カナダ先住民がシンポで訴えた水銀汚染。水俣病研究の第一人者だった故原田正純医師は1975年、初めて現地入りし、先住民の検診で水俣病の典型症状を確認していた。

現地は漁業や魚食が盛んで、不

魚、犬、猫に前兆

水俣の構図そのまま

認定を巡る混乱

知火海沿岸と似た環境、居留地グ
ラウン・ナロウズのルーシー・フ
オヒスターさん(66)は「川は異臭
が漂い、魚が浮かんた。魚を食べ
た犬や猫は震えて倒れ、死んだ」と説明した。

カナダ先住民がシンポで訴えた水銀汚染。水俣病研究の第一人者だった故原田正純医師は1975年、初めて現地入りし、先住民の検診で水俣病の典型症状を確認していた。

カナダ先住民がシンポで訴えた水銀汚染。水俣病研究の第一人者だった故原田正純医師は1975年、初めて現地入りし、先住民の検診で水俣病の典型症状を確認していた。

カナダの水銀被害訴え

熊本市でシンポ 先住民「川に沈殿」



カナダ、オンタリオ州の先住民居留地で起きた水銀汚染について、カナダのシンポジウムが18日、熊本市中央区の病と重なる部分が多

カナダの水銀汚染について報告する先住民のサイモン・フオヒスターさん(左)、右からマウウィン・マクドナルドさん、ルーシー・フオヒスターさん。18日、熊本市中央区

「カナダ政府は被害にきちんと向き合おうべきだ」と訴えた。カナダの水銀汚染は製紙会社のバルブ工場が原因。広大な流域面積を持つ川を汚染し、居留地2カ所で魚を多量に捕らえた先住民らの健康被害を引き起こした。カナダ政府は1969年、汚染を確認したが、水俣病の発生を認めていないという。先住民3人は、川が汚染されて健康被害が起きるまでの経過や補償を巡る現状を報告した。シンポは同センターが水俣病の公式確認60年に合わせて開き、約70人が参加。最終日は19日午後1時から、水俣市公民館で水俣病被害者らを集えて議論する。 (石貫謙也)

水俣病60年

カナダ先住民と水俣病被害者ら

共通の問題 解決へ連携



カナダ・オンタリオ州の水銀汚染をテーマにしたシンポジウムは、最終日の19日、水俣市公民館で、被害を受け、

北朝鮮による拉致被害者家族会と支援組織「救う会」の合同会議後、記者会見する飯塚繁雄さん(左から2人目)



大石利生(水俣病不知火患者会長)による症状などの説明を聞くカナダの先住民。19日、水俣市

も連携する方針を確認した。サイモン・フォオピス

ターさん(81)は先住民の症状は非常に似ていると指摘し、水俣病不知火患者会の大石利生会長(66)は「私たちが健康被害でも、補償対象から外されている現状などを報告、現地で検診した協立クリスティン(水俣市)の高岡滋医師(55)は「両国の判で争っている水俣病」

「今年中に救出せよ」

拉致家族会、救う会が方針

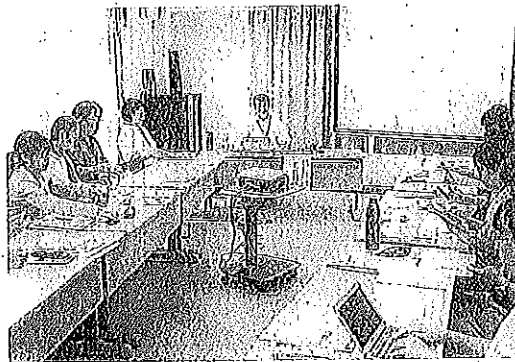
北朝鮮による拉致被害者家族会と支援組織「救う会」が19日、東京都内で合同会議を開き、「政府は拉致問題を最優先とし、今年中にすべての被害者を救出せよ」との新しいロードマップや、今後の運動方針を決めた。

「水俣病 学際的調査研究を」 学
園大が若手研究者セミナー

「水俣病 学際的調査研究を」

学園大が若手研究者セミナー

若手研究者を対象に始まった熊本学
園大水俣病研究センターのセミナー
8日、水俣市



水俣病の若手研究者
を対象としたセミナー
が8日、水俣市で始ま
った。現地で患者らと
交流することで研究を
深めてもらおうと、熊
本学園大水俣病研究セ
ンターが毎年実施して
おり、5回目。

16人が参加。センタ
ー長の花田昌宣教授は
「水俣病問題は法学、
医学、経済学などと分
かれて取り組んでも解
決しない」と強調し、
「一人一人が学際的調
査研究をすべきだ」と
呼びかけた。

熊日の高峰武論説願
問は「メディアと水俣
病」と題して講演。1
954年8月1日付の
熊日に掲載された水
俣市茂道地区での猫
大量死の記事などを紹
介し「自然はサインを
出していたが、私たち
が受け取ることができ
なかった」などと話し
た。

セミナーは10日ま
で。9、10日は患者ら
の話を聞くフィールド
ワークやグループ討論
などを実施する。

(山本 遼)

人ひと 「水俣学」をリードする熊本学園大教授の 花田昌宣さん



熊本学園大(熊本市中央区)の水俣学研究センター長として「水俣学」講座を主宰する。水俣病を学際的に、専門家の枠を超えて市民と共に考える試みだ。「水銀被害の深刻さを国内外に発信し続ける」。地球規模で水銀を規制する「水銀に関する水俣条約」が8月に発効し、思いを新たにしている。

【26面参照】

水俣病は、戦後日本の復興とともに、水俣市の経済を支えた化学工業メーカー、チッソの工場排水に含まれていたメチル水銀が原因だ。規制が遅れたのはなぜか。いまだ定まらない水俣病の「病像」とは。加害者側、被害者側に分断された地域を修復するには……。専門は社会政策学。水俣病問題

「水俣学」をリードする熊本学園大教授の

花田 昌宣さん

が投げ掛ける複雑な問いを、医学など自然科学だけでなく、社会科学の領域からも解こうと迫る。そして「専門家主義では解決できない」と強調する。水俣学の講師に幅広い分野の専門家に加え、患者や支援者らも招くのはそのためだ。

水俣病との関わりは約40年前の名古屋大生時代。支援団体のイベントで、東海地方に移住した被害者がいると知った。差別や偏見を恐れ、補償を受けられる立場でも病気を隠す人々に触れ「医学だけでなく社会的、政治的問題だ」と感じた。

初代センター長で精神神経科医師の故原田正純さんは、徹底して現場にこだわった。当時の医学的常識を覆す、汚染魚介類を食べた母の胎内で罹患した胎児性患者の存在を見いだし、1962年、学会で報告した。「現場に学び、社会に反映させる」。揺るがぬ信念だ。大阪府出身、65歳。



ひと

2017. 09. 22

金曜日

熊本日日新聞

朝刊

26 面 8 段

条約発効後初の「水俣学」始まる
学園大

<p>自分で考える力を鍛えたい」と話した。 (益田大也)</p>	<p>条約発効後初の「水俣学」始まる</p>	<p>学園大</p>	<p>熊本学園大(熊本市)で21日、水俣病を多角的な視点で考える第16</p>
<p>期「水俣学」講座が始まった。水銀を包括的に規制する「水銀に関する水俣条約」発効後は初めて。この日は熊本学園大水俣学研究センター長の花田昌宣教授が講義し「水俣病は過去の話ではなく、今の社会の問題として考え</p>	<p>てほしい」と学生ら約120人に投げ掛けた。</p>	<p>【3面「人」欄に花田教授の横顔】</p>	<p>水俣病は、原因企業チッソの工場排水に含まれたメチル水銀が原因で、1956年に公式確認された。花田教</p>

2017. 09. 24

日曜日

熊本日日新聞

朝刊

16 面 3 段

水俣市 介護保険テーマに公開講座
26日から全5回（水俣市公民館で毎
週火曜日午後6時半～8時半。受講料
無料。熊本学園大学水俣学研究セン
水俣市公民館で毎週火曜日午後6時
半～8時半。受講料無料。熊本学園
大学水俣学研究センター主催

水俣市 介護保険テーマに公開講座

熊本学園大水俣学研究セン
ターは26日から、介護保険を
テーマにした公開講座を水俣
市公民館で開く。10月24日ま
での毎週火曜日午後6時半～
8時半で全5回。

公開講座は、同センターが
地域貢献の一環で、さまざま
なテーマで専門的なことを分
かりやすく伝えようと毎年開
催。今回は「払っているだけ
の介護保険? はじめの一

26日から全5回

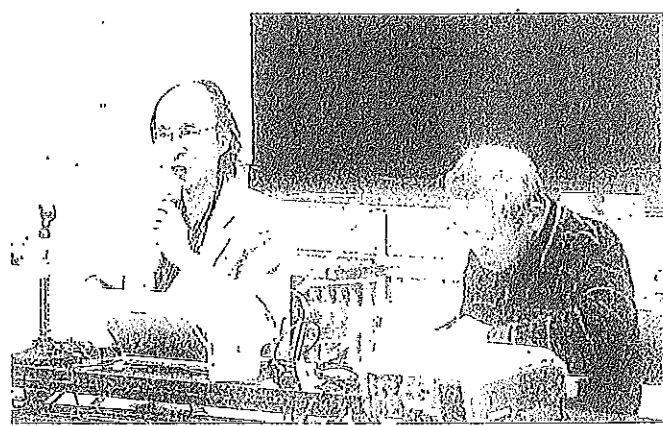
歩」と題し、介護予防や認知
症患者と家族を支える地域づ
くり、水俣市民と水俣病患者
の介護保険に関する現状と課
題などを学ぶ。
受講料は無料で、全講義受
講者には修了証を発行する。
水俣学現地研究センター ☎0.
966(63)5030。

「感覚障害のみ」認めぬ国批判 水
 俣病事件研究集会 新潟弁護団長ら
 講演

「感覚障害のみ」認めぬ国批判

水俣病事件研究集会 新潟弁護団長ら講演

新潟水俣病を巡る東京
 高裁判決について報告
 する高島章弁護士(左)
 と支援する会の秋野直
 路さん(右)6日、水俣市



国の基準よりも幅広く患者と認められた東京高裁判決を勝ち取った新潟水俣病行政訴訟の高島章弁護団長らが6日、水俣市で開かれた水俣病事件研究集会で講演し、感覚障害のみでは患者と認めようとする国の姿勢を強く批判した。

同訴訟は、感覚障害
 しかないことを理由に
 患者と認めなかったの
 は不当だとして、新潟
 市の男女9人が提訴。
 東京高裁は昨年11月、
 全員を患者と認定する
 よう同市に命じた。同
 市が上告しなかったこ
 とから、判決は確定し
 ている。

最高裁は2013
 年、別の訴訟の判決で
 感覚障害しかなかった
 女性(故人)を水俣病
 と認定。国は「感覚障
 害だけでなく認定可能」
 とする一方で、汚染魚
 多食の証拠などを求め
 る新たな通知を出した
 が、患者団体などは認
 定のハードルを上げ
 ている。

弁護団事務局の秋野
 直路さんは「(複数症
 状の組み合わせを原則
 とする)国の認定基準
 では救えない患者がい
 ることを高裁判決が明
 確にした」と指摘。確
 定後も「認定基準は否
 定されていない」とす
 る環境省の姿勢に疑問
 を呈した。

高島弁護団長は、認
 定の幅を広げる司法判

断が定着しているこ
 を強調。認定基準を
 しているのは国にも
 かわらず、被告が新
 市だったことから国
 「当事者ではない」と
 う態度をとり続けた。
 無責任だ」と述べた。
 熊本地裁で同様の
 訟を続ける水俣病被
 害者互助会の佐藤英樹
 告団長は「現行の認
 定基準に固執する行政
 省は、新病の原告とも
 矛盾を問うていきま
 い」と話した。

(川川俊彦)

訴訟や水銀影響巡り議論

水俣病の研究者が
 全国から集まる水俣
 病事件研究集会が
 6日、水俣市公民館
 で始まった。初日は
 新潟水俣病を巡る昨年
 11月の東京高裁判決
 や、水銀が胎児や乳児
 に与える影響などに
 ついて議論した。7日ま
 だ。

岡山大学大学院の頼藤
 貴志准教授は、水俣病
 が公式確認される前年
 の1955年を機に水
 俣市の出生率が低下す
 る一方、自然死産率が
 上昇し、いずれも健全
 体と逆転した統計資料
 を紹介。「水銀の暴露
 により、周産期や乳児
 期の子どもの健康に深
 刻な影響を与えた」と
 指摘した。

阪南中央病院(大阪
 府松原市)の三浦洋理
 専長は、水銀値が
 50ppm以上でない
 と発症
 しないとする国の主張
 について「水銀値
 は測った時点の状態を
 表すにすぎず、過去の
 暴露を示すものではな
 い」と批判した。

集会は熊本学園大
 水俣病研究センターが毎
 年開催。初日は約17
 0人が参加した。

(山本遠)

カナダ水銀汚染紹介 水俣病事件研究交流会 坂本さんら報告も

カナダ水銀汚染 紹介

水俣病事件 研究交流会

坂本さんら報告も

水俣病事件研究交流会は最終日の7日、研究者や被害者が水俣市公民館に集まり、カナダでの水銀汚染や、スイスで昨年開かれた「水銀に関する水俣条約」第1回締約国会議(COP1)などに関する報告をした。

の河川などを汚染したほか、地中に廃棄された水銀による汚染が現在も続いている恐れがあると指摘。「患者への補償問題を含め、今後の動向に注視したい」と述べた。COP1関連では胎児性患者の坂本しのぶ

カナダの水銀問題は和光大の森下直紀講師(東京)がオンタリオ州での事例を説明。1960年代に製紙工場が排出した水銀が周辺



水俣病事件研究交流会で、COP1について報告する谷由布さん(右)と坂本しのぶさん=7日、水俣市

さん(61)と現地へ同行した水俣病協働センターの谷由布さん(36)が報告。国連が水銀の危険性を広く伝えるため、坂本さんの訴えを盛り込んだ動画を作成したことを紹介し、「(COP1で)海外の政府関係者やNGOの人々に、しのぶさんのメッセージが大切なものと受け止めてもらえた」と振り返った。

集会後、患者団体などでつくる水俣病被害者・支援者連絡会が主催し、新潟水俣病を巡る昨年11月の東京高裁判決の意義を考える会合もあった。初日の6日は水銀が胎児や乳児に与える影響などを議論した。(隅川俊彦)

熊日・RKK新春交礼会
熊日・RKK新春交礼会
「熊日・RKK新春交礼会」が7日、熊本市中心部のホテル日航熊本であり、県内の自治体や経済、スポーツ、文化、教育など各界を代表する約650人が出席した。

各界の代表らが交流を深めて地域の発展につなげようと、熊本日日新聞社(河村邦比呂社長)と熊本放送(秋岡廣宣社長)が2003年から開いており、16回目。両社長らが会場入り口で出迎え、出席者は新年のあいさつを交わしながら和やかに懇談した。

集会後、患者団体などでつくる水俣病被害者・支援者連絡会が主催し、新潟水俣病を巡る昨年11月の東京高裁判決の意義を考える会合もあった。初日の6日は水銀が胎児や乳児に与える影響などを議論した。(隅川俊彦)



熊日・RKK新春交礼会で歓談する招待客ら=7日夕、熊本市中央区のホテル日航熊本(池田祐介)

2015/11/04

水曜日

朝日新聞

朝刊

25 面 3 段

チッソ旧工場 見学会に80人参加
熊本学園大の公開講座

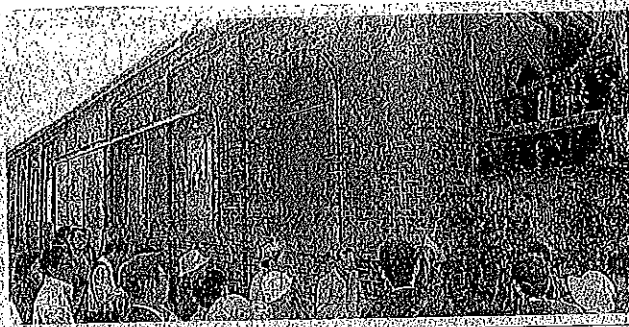


チッソ旧工場

見学会に80人参加

熊本学園大の公開講座

100年以上前に建てられた水俣市のチッソ旧工場



明治期に建てられたチッソ旧工場を見学する

3日、熊本学園大水俣学
研究センターが現地見学会
を開いた。約80人が参加
し、専門家の説明を聞きな
がら、市内に残る貴重なレ
ンガ造りの建物を間近で観
察した。

旧工場は1909（明治
42）年、日本窒素肥料（目
録、現在のチッソ）が農業
用肥料を作るための石灰窒
素製造工場として建設。壁
は高さ約5メートル、長さは東
西と北側の計約120メートル
が現存する。現在は合金鉄加
工販売会社「江川」（本社
・福島県）が所有し、今も
工場として使われている。

現地見学会は、熊本学園
大が開いた全5回の公開講
座の最終回として実施さ
れ、熊本六五高記念館の磯
田桂史資員教授（近代建築
史）が案内した。

旧工場を巡っては、地元
住民らが保存会を発足させ
ようと動き出している。保
存に向けた課題について、
磯田各員教授は「壁の内側
はからんどう。地震や風な
どの横の力にどれだけ耐え
られるか」と説明した。

（斎藤博史）

「みんな隠したがった」 水俣病患者ら発生当初語る 水俣で研究交流集会



水俣病の悲しみを話す患者の坂本フジエさんの言葉に、参加者はじっと耳を傾けた＝水俣市

水俣で研究交流集会

「昭和31年ころは『奇病』を言ひました。伝染病じゃなからうかと、みんな離れ、隠せる人はみんなが隠したがった。水俣病患者の坂本フジエさん(90)は、自分を含め家族4人が水俣病の被害を受けた。『絶対に死なせず、生きろかしよかん』と願っていた長女は、次第に口がきけなくなり、物も食べられず、目も見えなくな

「みんな隠したがった」

水俣病患者ら発生当初語る

1956年(昭和31年)5月の公式確認から60年、いまだ解決しない水俣病と改めて真剣に向き合うきっかけになれば。水俣市の市民館で始まった第11回「水俣病事件研究交流集会」は初日の9日。「水俣病60年の歴史の証言」をテーマに、発生当初を知る患者や支援者らが当時の思いや経緯を語った。10日も開かれ、研究者の報告などがある。

「昭和31年ころは『奇病』を言ひました。伝染病じゃなからうかと、みんな離れ、隠せる人はみんなが隠したがった。水俣病患者の坂本フジエさん(90)は、自分を含め家族4人が水俣病の被害を受けた。『絶対に死なせず、生きろかしよかん』と願っていた長女は、次第に口がきけなくなり、物も食べられず、目も見えなくな

「親としてこの姿を見ることが、いくら大きい声で話しても分かってもらえない」と述べた。胎児性患者の次女のぶささんは当初、病院で小児まひとされた。しかし、なんと小児まひの手が海岸のほとかり生まれるのか」と疑問を抱いていたという。

水俣市出身の堀田勝徳さん(78)は北九州市に21歳で出てきた胎児性患者の上村晋平さんと交流したり、看護師として78年から約6年間の移動診療所などで患者たちの訪問、支援活動を行ったという。

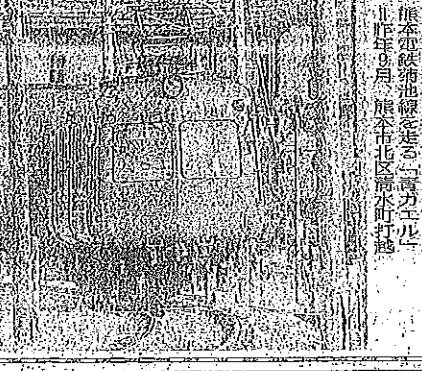
言葉が出ないのにも、抑えきれぬ涙で、歌で患者や、妻を語り、曲がして堅くなってきた体を動かして周りが困っているのを救えようとする少女を目標に当たりました。『人間の根本にある霊性の高さを見せられた』と話した。

水俣市立久木野小学校教諭の堀田幸治さん(57)は、坂本生(ぶさ)さんと小児まひの同級生だった。しのぶさんが通った『特殊学級』の児童を、4歳で命を失った。

青ガエル、来月14日ラストラン

その愛くるしい見た目から、「青ガエル」の愛称でファンに親しまれてきた東急電鉄5000系車両。熊本電鉄(本社・熊本市)菊池線を走る全国最後の退役車両の「ラストラン」が、2月14日に決まった。熊本電鉄が8日、発表した。現在、毎日曜日(熊本市西区)→熊本(同市北区)間を走る「青ガエル」は、1985年に東急電鉄から譲渡された1両のみ。57年の歴史と、老朽化のため、今年限りで引退することが決まっていた。運行予定日は今月10日から2月7日までの毎週日曜日と、同月13、14日。1日は夕方から最終列車までの9往復、それ以外は1日2往復を走る。引退の14日にはミニライブや写真撮影、運転士への花束贈呈なども企画されているが、熊本電鉄は混雑回避のため、「最後の雄姿をご覧になる方は、最終日前までにご乗車頂ければ」と呼びかけている。残された運行日は7日間のみ。「青

ガエル」に乗るために熊本を訪れたことがある名古屋市(26)は「レトロで雰囲気がある車両。引退するまでにもう一度は乗りたい」と話していた。車両引退後、上熊本駅の車庫で実際に動かせるように「助産保存」として、イベントなどで披露されることになるという。(加藤広大)



感づいていた自分があった。差別の意識があったのだ。思う」と振り返った。胎児性患者だとは、受けた記憶もないという。「アガール」として、水俣で水俣病を語り止めるのは、先どの確信、自信がないと先生たちもできなかったのかと思う」と振り返った。(高橋史)

水俣病 認定後ケアなし 熊本学園大調査 専門家ら県批判 救済申請主義が壁

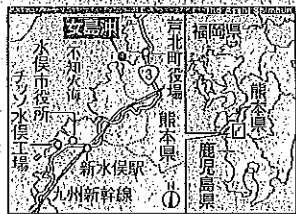
水俣病認定後ケアなし

熊本学園大調査 専門家ら県批判

水俣病と熊本県から認定された患者がその後、県から何のケアも受けていない実態が、患者の多い同県芦北町女島での熊本学園大の調査から浮かび上がった。国は「認定基準は医学的な診断基準」と説明してきたが、水俣病に詳しい法律の専門家は「認定は診断なら治療に入るはず、あとは知らん顔では診断とは言えない」と批判している。



住民を診察する下地明友教授と井上ゆかり研究助手(左)＝2012年4月、熊本県芦北町女島



調査地域は芦北町女島の沖地区。同大、水俣学研究センターの井上ゆかり研究助手らが昨年まで7年間、調査研究を続け、今年2月に博士論文をまとめた。

この間の2011年6月、12年8月、故原田正純元教授ら医師団の協力を得て、住民の健康状態を調査。県が水俣病の安全宣言を出した1997年以前生まれの1000人を対象に調べたところ、調査に応じた46人のうち、21人が認定患者だった。水俣病は有機水銀によって中枢神経が侵される病だが、医師団の下地明友教授(神経精神医学)によると、21人全員が認定された後、神経学的な診察を一切受けていなかったという。下地教授は「全員、行政からのアプローチがないと言ったまね」と話す。国の認定基準で水俣病と県から認定されると、患者は補償金1600万、1800万、加害企業チッソから受け取る。この認定基準について、国の環境白書は89年版から05年版まで、「認定のため水俣病の医学的な診断基準

後、後任に九電産業の津上賢治社長(60)が九州電力副社長に就くことが固まった。福岡空港ビル関係者によると、出資する企業や自治体など最終調整中。6月の株主総会後の取締役会で決まる見通し。麻生氏は知事退任後の2

救済申請主義が壁

水俣病の認定や救済は、患者側が名乗り出ることで行われる「本人申請主義」だ。しかし、患者が名乗り出にくい状況もある中、この認定基準について、井上研究助手らの女島調査でも、調査への協力を拒否されることが何度もあったという。

認定の後には補償があるが、行政側は治療など予定していない。認定基準は補償対象者を判断する基準であり、診断とは異なるものになっている」と指摘する。

法)は「認定の後には補償があるが、行政側は治療など予定していない。認定基準は補償対象者を判断する基準であり、診断とは異なるものになっている」と指摘する。

秋山ちを子さん死去

日本の女性成金ジャーナリストの草分けで、40年以上にわたってラジオ番組のパーソナリティとして活躍した評論家の秋山ちを子(あきやま ちをこ)さんが、48歳で死去した。本名(あきやま ちをこ)。



99歳

「おきよま、ちをこ」本名(あきやま ちをこ)。

よう勤めたが、「本人が水俣病を患っている」と拒まれ、調査もできなかった。井上さんは「今年水俣病公式確認から60年。いまだに正当な補償がなく、本人申請主義を盾に放置されたままの患者さんがいます。国と県の責任は極めて重い」と話している。

Table with multiple rows of small text, likely a list of names or a directory related to the article.

60年 何も終わっていない 水俣病
アンケート 親子3代で被害 家族
に明かさず 43歳で「非該当」救済
策に線引き

30年 何も終わっていない

水俣病アンケート



もに手足のしびれや震えを抱
る夫婦＝熊本県水俣市八幡町

水俣病の被害はこれまで、いつまで及んだのか、はっきりとわかっていない。親子数代にわたり被害に苦しむ人たちが、治らない体の不調を差別や偏見、そして救済の壁……。水俣病公式確認60年アンケートに回答を寄せた人たちを訪ね、思いを聞いた。

親子3代で被害 家族に明かさず

「昔は殺しても死なないうような丈夫な体をしとりました」。静かに語る熊本県水俣市八幡町の男性(78)の手は、小刻みな震えが止まらない。「チツツ」には、はらわたの煮えくりかえる思いのまっすぐです。

父は漁師だった。最初に母が患者と認定され、チツツから払われた補償金

▽1面参照

43歳で「非該当」 救済策に線引き

の2部は今も暮らす家の建築にあてた。総額約600万円の資金の半分は男性の稼ぎ。だが家が建つと「大金をもらって」との陰口が耳に入った。

「おいは水俣病じゃなか」。そう言い張っていた父は、すり足のようになり、こちなく歩いていた。吸うたばこが短くなり、火玉が指まで達しても気にならぬ。1980年に入院先で亡くなる。熊本大学医学部付属病院へ運ばれ、病理解剖された。約1年後、患者認定の通知が届いた。

男性にも症状が表れていた。未認定患者を救済するとして85年の「政治決着」で医療費などの給付を受けるようになった。妻(79)は「死んでもせんと」と申請をしながら、足のつりなどの症状がひどくなり、09年の水俣病被害者救済法(特措法)による救済策で

意を決した。県外で暮らす3人の子どもを説き、ともに申請すると救済対

定それぞれの家族には明かしていません。

「60年たっても、何も終わっていない」。熊本県芦北町出身の鶴崎明成さん(48)「千葉県習志野市」は言う。祖父は認定患者で、祖母と両親は医療費などの給付を受けている。

5歳で耳鳴りの症状が始まった。手が震え、小学校の国語の授業で印刷された字をなぞるうち、はみ出した。特措法の救済策に申請したが検診も受けられないまま、「非該当」の通知が来た。チツツの工場はメチル水銀の排出を88年に停止。救済策は、救済の対象年齢を原則として69年11月末までに生まれた人に限定している。鶴崎さんは72年生まれた。

「10年、20年たつて発症する同世代がいってはおかしくない」と鶴崎さん。「原発事故の補償でも『線引き』の問題が出てくるかもしれない」。現在、チツツも行政に損害賠償を求める訴訟に加わっている。

水俣病 認定なお高い壁

3千人「被害補償を」

公式確認から60年がたつ水俣病では、今も約3千人が被害の補償を求めている。患者と認定されるには高いハードルがあり、司法に訴える人も相次ぐ。行政や原因企業チッソは被害者に目を向け続けてほしい。水俣病公式確認60年アンケートの回答には、患者らの思いが伝わる。

▽1面参照

「今もなお、認定申請や訴訟をしている方が多く、いろいろな事実は重く受け止めている。水俣病について九川珠代環境相は28日、閣議後の会見で語った。

公費健康被害補償法（公健法）に基づいて熊本、鹿児島両県など行政が認定した認定患者は2,800人。チッソが160,0万、180,0万円の慰謝料などを払う。今も2,100人余りが認定を求めているが、1977年に当時の環境庁が出した現行の認定基準は「複数の症状の組み合わせ」が要件で、認定はまれだ。13,171人、10人が首肯を求め

患者と認められないまま、医療費などを受けた「被害者」も約7万人に上る。2004年、最高裁で被害を拡大させた国や熊本県の責任が確定すると、認定を求める人が急増。同は09年に議員立法で成立した水俣病被害者救済法（特措法）に基づく救済策で収拾を図った。

認定基準を見直す機会があった。最高裁は13年、症状の組み合わせがなくても認定する余地があるとして、基準の運用見直しを求める判決を下した。14年に環境省は一つの症状で認定する場合の新指針をつくった。だが、メチル水銀汚染さ

認定基準を求め、認定基準は「認定されるには高い」と堅持。その後も認定は熊本、鹿児島両県で4人にどまり、ハードルは依然高い。

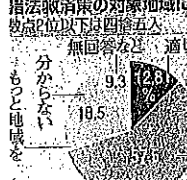
一方で注目されるのが原因企業チッソの動向だ。11年に補償責任や債務を同社に残し、営業事業を切り離して子会社JNCをつくった。環境相が承認すれば、JNC株を上場、売却してチッソを清算することもできる。特措法に基づく手続きで「救済の終了」などが条件。九川氏は認定申請や訴訟が続く現状から「救済も」地域を「広げざるを得ない」とも述べた。

患者、被害者を対象にした今回のアンケートでは、被害の補償や救済策についても尋ねた。

特措法に基づく救済策の申請は12年7月に締め切られた。かつて住んだ地域や生まれた年で原則的に対象者を限定する「線引き」があり、約9,600人が非該当となった。アンケート回答では、地域の線引き（対象地域）について「広げざるべきだった」が57・6%。年齢の線引きは「もっと若い人も対象とすべきだった」が43・0%。申請期間を「長くするべきだった」が約6割だった。

「水俣病問題の最終解決」を掲げた特措法は、政府などの取り組みとして「新規認定等の終了」も明記したが、アンケートではこの規定を「知らない」とする回答が4割あった。将来、水俣病の認定申請ができなくなることは64・4%が反対、賛成4%。反対との回答は、既に認定された患者や医療費などを受けている人でも5割弱、7割強を占めた。

（菅野啓介、小坂遊、田久）



2016/04/30 土曜日

朝日新聞

朝刊

1 面 1 段

水俣病60年「未解決」65% 患者・被害者アンケート

水俣病60年「未解決」65%

患者・被害者アンケート

水俣病「闘」の公式確認から5月1日で60年となるのを前に朝日新聞社と熊本学園大学水俣学研究所（熊本市）は共同で、水俣病の患者・被害者らにアンケートを実施した。6割超が「水俣病問題は解決していない」と回答。多くは、救済されていない被害者や、患者への認定や損害賠償を求める人たちが今も

いることを理由に挙げた。▽3面「補償求め3千人、16・17面「詳細、26面「苦しみ今も」

回答者の9割超がこの10年で症状が悪化し、差別や偏見を近年も受けたとする人が2割超いた。国は「最終解決」を掲げた救済策による救済の申請を2012年に締め切ったが、問題の根深さが改めて示された。

水俣病では、国の認定基準に基づき、熊本、鹿児島両県が認定した患者と、未認定だが症状が確認され、医療費などを求める被害者がいる。ほかにも症状を訴え、患者認定を求めている人や裁判で損害賠償を求めている人らがあり、患者・被害者らを含め、複数の団体をつくっている。

アンケートでは、こうした11の団体・施設を通じ、会員ら8948人にアンケート用紙を送付。2610人から回答を得た。平均年齢は70・3歳。

水俣病問題の現状について尋ねたところ、解決していない人が65・8%、「解決した」が3・1%だった。「解決した」3・1%のうち、医療費などを求める被害者でも5・6割が「解決していない」と答えた。未

た11の団体・施設を通じ、会員ら8948人にアンケート用紙を送付。2610人から回答を得た。平均年齢は70・3歳。

解決の理由（複数回答）では、「まだ救済されていない被害者がいる」79・6%、「患者認定を求めている人や、損害賠償を求めている人や、損害賠償を求めている人がいる」62・7%、「原因企業（チッソや国、熊本県がきちんと責任を認めていると思えない」44・9%——と続いた。

「解決した」3・1%のうち、医療費などを求める被害者でも5・6割が「解決していない」と答えた。未

た11の団体・施設を通じ、会員ら8948人にアンケート用紙を送付。2610人から回答を得た。平均年齢は70・3歳。

解決の理由（複数回答）では、「まだ救済されていない被害者がいる」79・6%、「患者認定を求めている人や、損害賠償を求めている人や、損害賠償を求めている人がいる」62・7%、「原因企業（チッソや国、熊本県がきちんと責任を認めていると思えない」44・9%——と続いた。

た11の団体・施設を通じ、会員ら8948人にアンケート用紙を送付。2610人から回答を得た。平均年齢は70・3歳。

解決の理由（複数回答）では、「まだ救済されていない被害者がいる」79・6%、「患者認定を求めている人や、損害賠償を求めている人や、損害賠償を求めている人がいる」62・7%、「原因企業（チッソや国、熊本県がきちんと責任を認めていると思えない」44・9%——と続いた。

熊本県水俣市にあるチッソの工場が排水と一緒に海に流したメチル水銀が原因の公害病。熱さや痛さなどの感覚が鈍くなる（感覚障害）、見える範囲が狭くなるなど様々な症状がある。症状の表れ方や加齢に伴う変化などが十分解明されておらず、被害の広がり方についても論議が続く。認定患者2280人

（うち1879人が死亡）、救済策などで医療費などを受けた人が約7万人。一方で、今も100人余りが患者認定を求め、約1300人が裁判で損害賠償などを求めている。患者・被害者団体はチッソや行政との交渉や提言、訴訟支援などを通じて、患者らの福祉や補償・救済に取り組んでいる。

て、熊本学園大学水俣学研究所病に負のイメージを抱き、センターの花田昌宣センタ―長は「補償や一時金を受けられることを非難された経験が目立ち、子や孫など身内にも相談をしたことがない。療養などを給付する必要が人が少なくなかった。水俣ある」と話している。

病に負のイメージを抱き、センターの長は「補償や一時金を受けられることを非難された経験が目立ち、子や孫など身内にも相談をしたことがない。療養などを給付する必要が人が少なくなかった。水俣ある」と話している。

水俣病60年

解決遠い「公害の原点」

「公害の原点」とも言われる水俣病が公式確認されたから、さよなら60年になる。だが、被害者の多くが「問題は解決していない」と考えている。

熊本学園大の水俣学研究所「水俣病60年アンケータ」で、回答者2810人の3分の2がそう答えた。

救済から漏れた被害者の存在や不十分な国の制度、年を重ねるにつれ悪化する症状と、アンケータからは被害を受けた人々の不満や不安が伝わってくる。なす解決できないのか、認定患者をできるだけ増やさないようにしてきた政府の姿勢が、真っ先に問われる。

1977年に認定基準を狭めて以降、感覚障害だけの患者がなかなか認定されなくなった。その結果、チツツが原因企業

は2280人にとどまる。被害の救済より、補償金を払うチツツの経営に配慮してきたと見られ、でも仕方がない。

認定されない人々は、損害賠償を求めて次々に提訴した。このため、政府は95年、2009年と2度にわたる政治決着で、「患者」と区別する「被害者」を位置づけ、「一時金支給などの救済策を実施した。

対象者は、最初の政治決着が約1万人、2度目は約3万6千人。その他、医療費などを受けた人も含めると、被害者は7万人超にまで膨れ上がった。

一方で、2度目の救済からは約9600人が漏れた。対象地域や年齢の設定が狭すぎた、と専門家から批判が出ている。

さらに、認定申請者はいまま2100人を超え、13000人が国や熊本県、チツツに損害賠償

被害の広がりや全容をつかむには、発症地域周辺で、広く住民の健康調査をするしかない。それなのに政府はこれまで、時間の経過などを理由に調査を拒んできた。だが、どんな症状がどの範囲で発生しているかは、今でも十分把握が可能だ。

アンケータでは、「今さら金をもらおうとしている」と陰口を浴びせられた「など、本人や家族が差別や偏見を体験した人が3割に上った。差別が残るのも、政府が実態を直視せず、事実を住民に周知してこなかったことが一因ではないか。

60年を経てなお、不知火海周辺に水俣病の「深い闇」が広がる。政府は徹底的に責任を被害を振り起すべきだ。

その結果をもとに、現行の認定制度や救済策を総合的に見直すことこそ、水俣病問題の根本

「奇病」なのか 追究20年

2016/05/08 日曜日
朝日新聞 朝刊
34面 1段

終わらない水俣病 公式確認60年 アンケートから ①「奇病」なのか 追及20年 86歳、震える手隠し続け

終わらない 水俣病

公式確認60年 アンケートから ①

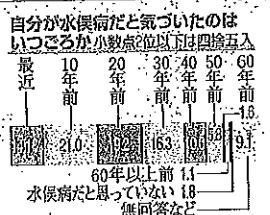
私は水俣病なのではないか。問い続けて20年余り。答えはまだ見えない。「焼けるような」手足の痛み。耐え難い苦しみを紛らわせようと、冬でも熱を掛け放ち、手足を冷やす。それでも3時間経てば眠れない。山本美季男さん(89)は、40歳を過ぎてひどく痛くなった。受診した医療機関は100を超え、原因は分からず、様々な薬を試しても痛みは癒えない。幼心は刻まれた。12歳の時、家族で大阪へ。山本さんが30歳を前に起こした医療・介護用品の卸会社は成功した。事業の充実の一方、体の不調は顕著になった。



出身集落の水俣病被害について調べてきた山本美季男さん(岐阜県可児市埴河)

生まれつきの体が弱かった。激業のためにと親は毎日、魚を食べさせたが、6歳になっても起き上がるのがやっと。「水俣で流行している『奇病』のごたる(の)ようだ」。鹿兒島市の病院で医師が漏らした言葉は、幼心に刻まれた。12歳の時、家族で大阪へ。山本さんが30歳を前に起こした医療・介護用品の卸会社は成功した。事業の充実の一方、体の不調は顕著になった。

知人を訪ねて調べ始めた。症状が出るなら、「一番はあの村だ。思い定めて真っ先に会ったのは、薩摩布計駅の近くで「村上商店」を営んでいた村上文枝さん



気づいた時期に幅 【水俣病公式確認60年アンケートの回答から】水俣病だと気づいた時期には、回答に幅があった。40年以上前が計18.5%だった一方、「10年前」と「最近」を合わせると計35.1%。

86歳、震える手隠し続け

上がり櫃に座る村上さん。取りに行ってもいらい、ふたを閉じてもらっては足取りに、わざと離れた所の品を。水俣から魚を運んできた行商が降り降りした。国鉄山野線の薩摩布計駅跡。村上文枝さんはその魚を売ってきた一鹿兒島県伊佐市大口

や手づきで目を凝らした。「おばちゃん、手が震えるね」。村上さんは「そんなことない」と首を振った。その後も折を見て訪ねたが、はぐらかされ続けた。5年前、正面から切り出した。「自分は行商の魚を食べて水俣病になったと届出てる。おばちゃんも症状が出てるやろ」。村上さんは「出さざらん、こらさぞそんな人はおらん」。だが、山本さんが地元で会った多くの人は、手足のしびれやまひを訴えていた。2004年以降、山本さんは水俣病の患者認定や医療費給付を求めて申訴を繰り返したが、3回退けられた。チツソが賠償を流した不知火海から約20キロ離れた伊佐市大口は、未認定患者の救済策などの「対象地域」外。15年、被害者団体に入り、国などに賠償を求める訴訟の原告になった。その頃、訴訟の関係者が、村上さんも原告と聞かされた。「かたくなに否定していたのに、なぜ」。村上商店は今も駅跡のそばにある。「山本君には本当のことを言わず、悪かったですね」。訪ねた記者に村上さんは語り始めた。39歳で足がしびれて方が入らなくなり、医師に「奇病」と言われた。その響きにぞっとした。ハンセン病患者のように家族から隔離されるのではと恐れ、隠し通そうと誓った。12年春、水俣病の潜在被害の調査を続ける民間の医師団が、住民の検診に訪れた。彼々参加したが、問診で「しびれはない」と言っていた。しかし、一通り検診を終えた医師は村本さんの震える手を握り「これは水俣病だ」と言った。その瞬間、体中の力が抜けた。「ああ、私は水俣病だったのかと。40年の胸のつかえが下りました」。村上さんが原告団に加わったのはその後。集会で人前に立ち、被害救済を訴える。「知らなかったとはいえず、魚を売って被害を広めた。そんな自分が負った責任」と考えている。再び岐阜へ。村上さんの話を記者から伝え聞いた山本さんは、しばらく黙って「この病氣は人の心も苦しめるんだね」と頭を振った。「水俣病は、自分で被害を訴えないと放置される。40年悩ま苦しんだ村上さんのような人に、国やチツソは報いないといけません」(奥村智司)

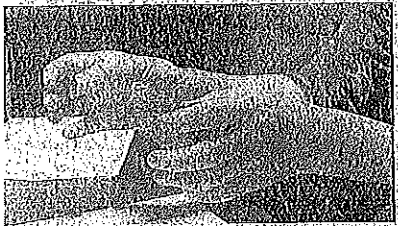
水俣病を巡っては、被害への償いを求める訴えが今も続いている。被害者を限定する救済策の繰引き、地域経済に影響を持つ原因企業チツソへの意識、被害者への差別・偏見。様々な障壁が問題の解決を阻んできた。公式確認60年を前に朝日新聞社と熊本学園大学水俣学研究所センターが実施したアンケート(原則無記名)の回答で、記者の取材を承知していた方々を訪ねて課題を探った。

終わらない水俣病 公式確認60年 アンケートから ① チツソ城下町 自制今も

チツソ城下町 自制今も

終わらない水俣病

公式確認60年 アンケートから



① 市内チツソの調査員が、手元を握りながら、患者の病状を確認している。背景には、水俣病の被害者とその家族の姿が写っている。

「おはの家からもらった小魚が並んでいた。大正生まれの父はチツソ水俣工場で働いた後、土木建築の仕事に従事したが、50歳前後で失明、緑内障との診断だった。67歳で亡くなった。」

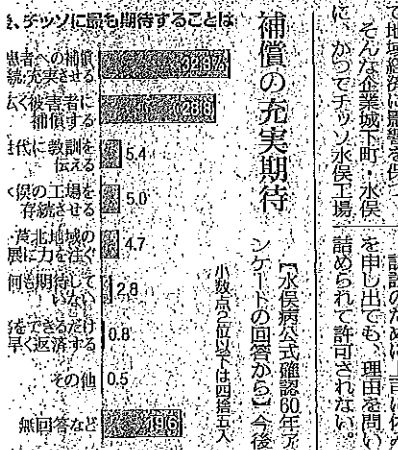
「水俣のせいかもしれない」と思うが、チツソは自分の認定申請も被害の訴えもしていない。おはの家からもらった小魚が並んでいた。大正生まれの父はチツソ水俣工場で働いた後、土木建築の仕事に従事したが、50歳前後で失明、緑内障との診断だった。67歳で亡くなった。

「水俣のせいかもしれない」と思うが、チツソは自分の認定申請も被害の訴えもしていない。おはの家からもらった小魚が並んでいた。大正生まれの父はチツソ水俣工場で働いた後、土木建築の仕事に従事したが、50歳前後で失明、緑内障との診断だった。67歳で亡くなった。

悪いこと言えぬ

刺すような手足のしびれ。熊本県北町の女性（80）は、夫と共に水俣病の症状が確認された。3人の子のうち2人は、特種な救済策で医療費などを受けている。

家族で水俣病にさしいなまれば、女性の胸中は複雑だ。亡くなったおははチツソに動いていた。今は20代の孫が、チツソが100%出資する事業会社J・N・Cで働く。女性が「チツソ」と口にするのを、孫は「おは」と言い返される。自分たちは水俣病と関係はない。「そんな意識も、孫の言葉には感じる。『チツソが悪い』とは言えない。女性に言う。」



「水俣病公式確認60年アンケート」の回答から。今後、小基数を以ては四捨五入

「水俣病公式確認60年アンケート」の回答から。今後、小基数を以ては四捨五入

付属病院があった。そこで生まれた緒方博文さん（59）は、水俣市には「チツソ」や「国」などに損害賠償を求める訴訟を続けている。

幼い頃から足の感覚が鈍く、寒い風呂に入っても足先は冷たく感じる。すねの骨あざや擦り傷に、後から気づく。そんな体の不具合を水俣病患者のおはに相談したのがきっかけで、05年に患者認定を申請し、訴訟にも加わった。

「あんまりチツソを責めると、このまわりの再建につながる。『自制』を求めたい。『自制』を求めたい。『自制』を求めたい。」

「水俣病公式確認60年アンケート」の回答から。今後、小基数を以ては四捨五入

「水俣病公式確認60年アンケート」の回答から。今後、小基数を以ては四捨五入

2016/05/10 火曜日
朝日新聞 朝刊

30面 1段

終わらない水俣病 公式確認60年 アンケートから ①「家の恥」口閉ざした
終わらない水俣病 公式確認60年 アンケートから ②「家の恥」口閉ざした 避難恐れ 申請に壁 差別・偏見 3割が経験

「家の恥」口閉ざした

終わらない水俣病

公式確認60年 アンケートから

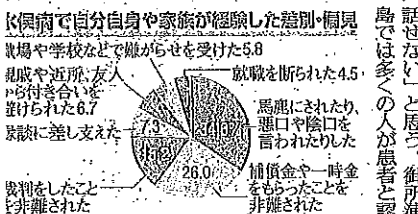
亡くなった父親は祖父の敵しい言いつけた。水俣病のことを話すのは家の恥。6年前まで、西川成代さん(72)は大阪市平野区IIを守っていた。

「水俣病のことを話すのは家の恥。6年前まで、西川成代さん(72)は大阪市平野区IIを守っていた。不知火海を挟んで熊本県水俣市の対岸に浮かぶ茶臼山(同県天草市)の出身。祖父は網元の漁師で、三男坊の父は、網の補修や漁師のいさかいの仲裁など裏方仕事を黙々とこなし、一目置かれる存在だった。新鮮なイワシやアジなどが食卓に並んだ。「浮かんで流されてきた



西川成代さん

岸の水俣市での「奇病」の発症が話題になった。島では病気の魚が原因とうわさされた。だが、家族にはプライドがあった。「新鮮な魚を売って物にする網元の家で、おかしな魚を食べる病気になるはずがない」と父は言った。父は1977年、68歳の頃から徐々に視力を失い、歩くのも不自由になっていった。それでも自分が水俣病だとは認めず、患者認定の申請を勧めに訪れた医師や弁護士



15年ほど過ぎた2009年秋、関西にいる御所浦出身者の集まりに、水俣病の未認定患者の補償に取組む弁護士が顔を出した。聞くとはなしに聞いた訴訟の話が、煽りてから気になった。体調が悪いのは水俣病だからかも知れない。父の顔が浮かんでほろろと涙が流れてきた。弁護士に連絡。集団訴訟に加わり、医療費を受け取っている。今は自身の体験を人に語る。目立ちたくはないが「私自身の痛みは、私しか話せない」と思う。御所浦島では多くの人が患者と認め

非難恐れ 申請に壁



草野勝也さん

患者の家族でも水俣病への抵抗感はある。水俣市の漁村部出身の男性(72)岡山市IIは、父親が認定患者。子どもの頃から、近所でも水俣病と思われる重いついでしたが、04年に被害の症状の人を見ていた。「あの風になつてはたまらぬ。自分が水俣病であつたらまるかと思つた。そうして長年、体の不調を我慢

「水俣病公式確認60年アンケート」の回答から、自分自身や家族の差別・偏見に関する経験がある30.5%の人が回答。体験の内訳(複数回答では「偏見にされたり、悪口や陰口を言われたりした」「補償金や一時金をもらつたことを非難された」を選んだ人が目立つた。水俣病の被害や心配事を相談できる人が

拡大を放置した国などの責任が最高裁判決で確定した後、第2の政治決着が図られる中で医療費を受け取った。症状を確認する検診のため水俣に帰った時のこと。実家には寄らずホテルに泊まり、食事もホテルで済ませた。知人に会わないためだ。「水俣病かもしれない」ということを、絶対に知られてはいかんかった。恥ずかしいから」

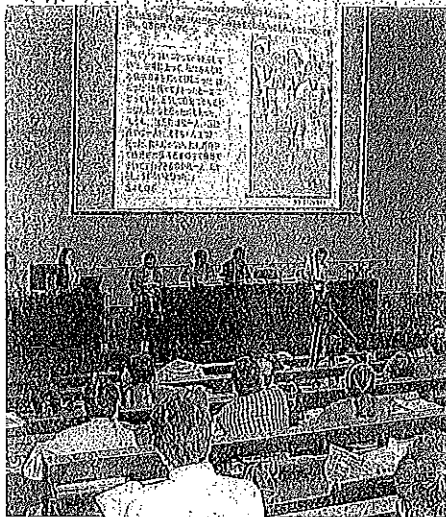
水俣病被害者救済法(特措法)に基づく救済策に申請し、対象となつた草野勝也さん(72)は「大分市IIは水俣からよそに出たけれど、まだよかったです。ただ、申請できなかった」と話す。18歳で高校を卒業するまで、水俣市の郊外に住んだ。「あいつは水俣病だ」。あの家は補償金で建てた。そんな陰口を聞くことが、少なくなかつた。きょうだいの間でも救済策の対象になつたかどうかは、互いに聞かない。「それくらい、触れにくい話題で

2016年(平成28年)9月11日 日曜日 10版 熊本 32

水俣病の教訓を共有

タイで集会 研究者「今も闘い」

熊本学園大とNPO法人水俣病協働センター（水俣市）は10日、タイ・バンコクのテュラロンコン大で、同大と共催した水俣病の公式協議60年と産業公害などに関する集会に参加し、水俣病の現状や課題について講演した。またタイの研究者らは、水俣病の教訓をどういかに活かすかなど、タイの環境問題への課題を語った。



集会は「水俣病60年」産業公害の教訓・持続可能な社会を目指して」と銘打つたもので、タイの環境NGOなどを共催した。

熊本学園大水俣病研究センターからは4人が登壇し、水俣病の教訓や課題、水銀規制などを説明した。田尻雅美研究員は、胎児性小児患者が長年受け得た社会的な差別、チツツからの補償などは介護が立ちゆかない現状などを報告。「胎児性・小児生水俣病患者の多くは60歳前後になつたが、現実とかけ離れた制度のためにも今も闘い続ける」と述べた。

「水俣病は政府、国の政策の悪さによって起きた。もつと人の健康や環境を考慮したなら、水俣病は起きなくて済んだ。公害病を起すことはできないが、タイ政府はいま、人の健康より成長率を優先する発展計画をしている」と指摘した。聴衆の一人から「住民への被害を反省して、地域開発計画に盛り込んで欲しい。政府は環境に影響をもたらしすべての事業、活動を止めたい」と要望があがると、大きな拍手が起った。

タイの環境NGOのベンチヨム・セータン事務局長は、「水俣病は政府、国の政策の悪さによって起きた。もつと人の健康や環境を考慮したなら、水俣病は起きなくて済んだ。公害病を起すことはできないが、タイ政府はいま、人の健康より成長率を優先する発展計画をしている」と指摘した。聴衆の一人から「住民への被害を反省して、地域開発計画に盛り込んで欲しい。政府は環境に影響をもたらしすべての事業、活動を止めたい」と要望があがると、大きな拍手が起った。

タイの集会で水俣病の被害の状況や課題などを説明する熊本学園大水俣病研究センターの研究



「水俣病みたいの繰り返してほしくない」 患者の坂本さん タイで講演

2016年(平成28年)9月11日 日曜日

水俣病みたいの繰り返してほしくない

患者の坂本さん タイで講演

母親の病なかの中で水銀被害を受けた胎児性水俣病患者の坂本しのぶさん(60)は、熊本県水俣市で10日、水俣病の公式確認60年を機にタイ・バンコクで開かれた集会で講演した。環境団体や公書の被害者ら約200人を前に、被害の経験や自らの思いを語った。

集会は、バンコクの工場地帯での大気汚染や金鉱山の廃水による農村の土壌被害などを共同研究しているタイのチュウロンコン大と熊本学園大水俣病研究センターなどが主催した。登壇した坂本さんは、こわばった手足に力を込めて

語りかけた。「水俣は、チツツの廃水で、あたしたちは悪くないのに、病気になる。とても悔しいです」。原因企業マツツが海に流したメチル水銀に汚染された魚を母親が知らずに食べた。胎児期に脳の神経細胞に被害を受けた。会話も歩行が不自由な体で、中学も年たった72年には国連人間環境会議が開かれていたスウェーデン・ストックホルムを訪ね、水俣病の被害を世界に訴えた。



水俣病の経験を生かして、タイで講演する坂本しのぶさん。タイのチュウロンコン大で10日、水俣病の公式確認60年を機に開かれた集会で講演した。

はず、長距離の移動には車ひまが欠かせない。そんな中、水俣病患者を支援するNPOを通じてタイ側から集会参加の打診を受けた。移動への不安もあったが、「水俣病みたいなの、ほかの所で絶対に繰り返して欲しくない」と出陣した。

この日は、子ども向けの一生懸命練習して歩けるようになったこと、海外で被害を訴えてきたことなどを話した。タイは公害が社会問題化しているものの、水銀の使用などを規制する「水俣条約」に調印していない。坂本さんは「タイでも水銀の使われ方が減らされて欲しいな、とか思うんですけど、水俣みたいにして欲しくない」と訴えた。話を終えると、会場から拍手がわき起こった。「あだしの話を、分かってくれたかな、と思ったの」。坂本さんはそう話し、顔をほころばせた。(斎藤隆史)

2016/09/24

土曜日

朝日新聞

朝刊

25 面 5 段

水俣で地震の備え考える講座 熊本
学園大、27日から

水俣で地震の備え考える講座 熊本学園大、27日から

熊本学園大水俣学術研究センターは27日か
ら、水俣市浜町2丁目の市公民館で公開講座
「熊本地震と水俣―地震への備えを考える
―」を開催する。全5回。いずれも火曜日の
午後6時半からで、受講は無料。

4月の地震発生直後から避難所の設置や運
営、障害者支援に携わってきた同大の研究者
らも、今後の地震にどう備えるべきかといっ
た課題について考える。

講座の日程と内容、講師は以下の通り。詳
細は水俣学術地研究センター（0966-63
・5030）へ。

- ①27日、「益城町の被災状況」、和田要・
同大社会福祉学部教授
- ②10月4日、「災害後
のまちづくり」、天野和彦・福島太つづくし
まふくしま未来支援センター特任准教授
- ③11
日、「熊本地震からの復興と次の地震にどう
備えるのか」、河田恵昭・関西大社会安全研
究センター長
- ④18日、「熊本学園大学の避難
所の経緯」、花田昌宣・熊本学園大水俣学研
究センター長
- ⑤25日、「被災地障害者支援」、
東俊裕・同大社会福祉学部教授。（斎藤靖史）

被災地の大学 役割とは 「居場所」づくり目指そう 熊本学園大 (社会福祉学部の花田昌宜教授は・・・)

被災地の大学 役割とは

「居場所」づくり目指そう

熊本学園大

6日、熊本学園大(熊本市中央区)で「地域に根付いた避難所の取り組みと被災者支援」をテーマにしたシンポジウムがあり、学生ら約270人が参加した。

4月14日の地震では同大内の施設も被災したが、直後から一部施設で地域住民を受け入れ始め、ピーク時には約760人が避難。5月28日に閉所するまで、24時間態勢で教職員らを配置し、運営にあたった。

社会福祉学部の花田昌宜教授は「人がきつしりり、通路にもあふれていた。中には車いすの人もいた」と開設当初を振り返った。どのように受け入れられるか考えた結果、福祉避難所には移さず、学内のホールを専用に使った。

花田氏は「(学内には)日常的に障害がある人、高齢者と共に生きる社会があり、災

でも「さえる」と感じてもらえることが大切。まずは寄り添うことだ」と長友教授。今回ケアする例では、被災者が自分自身の限界を理解したうえで支援することが必要だと

被災地の大学はどうあるべきか。熊本地震後の被災者支援や復旧・復興にあたる大学の役割や課題を考えるシンポジウムが5、6の両日、県立大と熊本学園大で相次いで開かれた。大学側や専門家は日常的に地域や要支援者らとつながることの大切さを訴えた。



本学園大の学生たちのボランティアの様子 紹介する特別資料展 6日、熊本市中央区

チツソ救済の論点再考

水俣病研究集会きょうまで

水俣病の研究者や市民ら
が一体となって議論する水
俣病事件研究交流会が7
日、2日間の日程で始ま
り、初日は、会場の水俣市
公民館に約130人が集
まり、研究者ら7人が「水俣
病原因企業と行政」などを
テーマに報告した。

集会では、水俣病の原因
企業チツソへの公的支援が
決まった経緯について、当
時の副社長が残した「内部
メモ」の存在を確認したチ
ツソ史研究者の矢作正氏が
メモを中心にチツソ救済の
是非の論点などを報告。参
加者が質問した。

また、水俣病行政に関わ
ってきた元県健康福祉部長
の森枝敏郎氏は1990年
から、県水俣振興推進室で
取り組んだ「水俣再生」の
経緯を報告。多くの患者ら
を訪ねて意見交換を重ね、
悔い状や慰霊式での水俣市長
の謝罪を強く求めたとい
い、近年は「水俣病問題に
正面から向き合うことなく
『教訓』『教訓』と言っ
て」を危惧も示した。

NHK熊本放送局の吉崎
徳太郎氏は、胎児性
患者の公式確認の1956
年に生まれた坂本しのぶさ
んの少女時代からの映像を
披露。坂本さんが、腫瘍を
抱えながら和紙づくりや織
織りといった「自分のでき
ること」を懸命に模索する
様子を、自身について「本
当は逃げたい」と感づいたと
もある。水俣病から逃げて
も逃げられない「一私にと
って二日三日が大切だ」と
語る場面などを紹介した。

8日は午前9時半から、
「水俣病訴訟の現状と課題」
などをテーマにした報告が
予定されている。奥正也



参加者からの質問を答
ける発言者「水俣市侯
町2丁目の市公民館」

チツソ救済「何のため」問う

補償実現に奔走した川本氏の長男

公的支援を検討する一方、患者との間で結んだ補償協定の改定や破棄をチツソに繰り返し注文。県知事には「補償金支出の面止めが欠落している」として、(患者)認定について厳しい姿勢を求めたと記されている。

矢作氏は、これらの経緯がメモで明らかにされた。指摘。県が県債を発行し国などから調達した資金をチツソに貸し付ける支援方式を政府が78年に閣議了解した直後、認定審査の厳格化につながる環境庁事務次官通知が出た。

矢作氏は発表後の取材でこうした経緯を踏まえ、「チツソ救済と認定の厳格化の関係が推測できる。認定申請者の急増で補償にいくらか必要になるのか見通せない中、補償負担を抑えようとしたとみられる」として

「患者救済 隠れ蓑か」



内部メモに一人の患者の名がある。患者たちの補償実現に奔走し、チツソや行政に敵視された。その長男は患者家族として経歴を語り続けている。「チツソ救済は何のためだったのか。加害者に問い続ける。川本に対する東京高裁の免訴の判決。検察庁上告(1977年6月)」。川本。メモに出てくる関係者の中で、その人だけは敬称も肩書もない。熊本県水俣市で患者団体・チツソ水俣病患者連盟の委員長を務めた故・川本輝夫氏を指す。チツソとの交渉中に社員にけがをさせたとして書類送検のうえ起訴されたが、東京高裁はチツソの責任を追究しない検察の対応



川本輝夫さん(右)。新たに出る環境庁事務次官通知をめぐり、「国で補償費の面額を定めるかわりに(認定申請者の)棄却処分つまり患者の切り捨てを進めよう」というものだ。田中久徳(右)環境庁長官に詰め寄った1978年8月、東京都の川本輝夫さんの長男(左)と田中久徳(右)。

を不公平と指摘し、起訴そのものを棄却。後に最高裁で確定した。初対面にもかかわらず、(官房副長官から)最初に「出た言葉は、川本など逮捕すべきだ」といった。77年に原情に訪れた久我氏に官房副長官が語ったとされる言葉が、メモに記されている。

「一切って捨てればいい人間だ。そんなニュアンスを感じます」。川本氏の長男(左)と田中久徳(右)は、このメモを読んで語った。祖父輝夫さんは65年、急性劇症の水俣病と同様の症状を呈して69歳で死亡したが、水俣病と認定されなかった。

闘いは続いた。チツソには補償を拒まれ、71年12月から1年7カ月、東京のチツソ本社に座り込んだ。チツソ相手の損害賠償請求訴訟で勝訴した患者家族と共に交渉を続け、締結にこぎつけた補償協定は、今日に至るまで認定患者の補償の根拠になっている。

だが、久我氏のメモには、川本氏らが勝ち取った患者の権利への国の冷ややかな視線が浮かぶ。その後、チツソは公的支援を受け、患者への補償を続ける一方、国は患者の認定審査を厳格化し、被害の

広がりを調べようとした。公的支援による患者救済はチツソ救済の隠れ蓑だったのでは。大義はあるのかと愛一郎さん。川本氏は99年に死去。愛一郎さんは水俣の隣、鹿児島県出水市などでデイサービスセンターを経営する一方、2008年から水俣市立水俣病資料館で一語一語として経歴を伝える。かつてチツソの「企業城下町」の水俣では川本氏への市民の風当たりは強く、「ほか」「死ね」といった電話やほかが家に届いた。子ども時代の愛一郎さんは、枕元にバットや懐中電灯を置いて眠った。

そんな街の空気は表面向き和らいたと感じるが、「一時が流れて記憶が薄れただけでは、患者の理解が深まったとは思えない」。被害を訴える人の声はますます、横たわった患者の数も増え、国や県、チツソはこうするつもりか。良識を信じたい。父が生きていたら何を思っただろうと、愛一郎さんは考える。(田中久徳)

水銀汚染、カナダから報告

カナダの先住民居留地を襲った水銀汚染について報告する国際シンポジウム「カナダ先住民の水俣病と水銀汚染」が18日、熊本市中央区の熊本学園大で開かれた。カナダからの報告は約70人が聴き入った。

水俣病公式確認60年を機に同大水俣学研究所センターが企画し、カナダ・オンタリオ州の先住民居留地「マクドナルド・カローワズ」の長のサイモン・フォレスト氏と、61歳を招待。カナダの水銀汚染は製紙工場が河川に排出した水銀に汚染された魚を下流の先住民が食べて被害を受けたという。1970年代に「水俣病」が起きているのは、と最初に報告したのは故・原田正純医師だった。

フォレスト氏は「原田先生が最初に版付の症状を調べた。当時は誰もカナダで起きていることを信じていなかった。40年以上、川から汚染された魚を食べている。県は、収容数の増加に対応するため、昨夏ごろからコンテナハウスを設けたり車庫や研修施設を活用したりしていたが、7月はそのような環境が整っていなかったという。県の担当者は「申し訳なく思っています」と謝した。

（大森浩二郎）

予定者の着をじっくりの暇なく機会がない」と企画した。最初に立候補予定者に演説してもらい、その後、復興政策を中心に質問をぶつける。田中武夫代表は「復興に向かうこの4年間、極めて重要。肉声で働き、議員の選任をする機に

泥を取り除くような言い続けられている」と述べた。妻のルース（66）は、魚を食べ続けた大猫が震えるようになったり死んでいったことを振り返った。自身は今でも「ま先の痛みが夜に悪化する。この苦しみは水銀からなのだ。何の補償も受けていない」と語った。

（興正光）

水俣病の不服請求審理。国の公害健康被害賠償不服請求会は、水俣病の認定申請を棄却された京都市在住の男性（61）について17日に口頭審理を行った。症状を訴える男性に対し、棄却した熊原真氏は「家族の認定状況などを理由に男性が有機水銀の影響を受けた可能性はほとんどないと主張した。男性は不知火海に面した同県出水市高尾野町出身。水俣病が公式確認された1980年代後半に大阪へ働きに出た。同県に帰ると、公的検診で両手足の先の感覚が鈍くなる障害を認められた。有機水銀の影響はないと主張し、2012年10月に棄却。男性が不服請求を求めている。

口頭審理で、熊原真氏は、有機水銀の影響を否定した県の判断について「（男性が）居住した地域に被災者がなく、同時に同居していた家族などにも被災者がいない。海で魚を貝を取っていたというが、漁業の従事歴はない」と説明した。

カナダでの水銀汚染を話すサイモン・フォレスト氏（左）とオビスターさん（右）



56 24 181 191 119

被災障害者らへの「配慮」を考える
浪速区で巡回資料展

被災障害者らへの 「配慮」を考える 浪速区で巡回資料展



昨年4月の熊本地震発生後、45日間にわたって被災した障害者や高齢者らを受け入れた熊本学園大学(熊本市)の取り組みをまどめた巡回資料展が、大阪市浪速区の大阪大権博物館で開かれる。

学校法人熊本学園などが主催。大学は4月14日の前震直後から障害者らを受け入れ、5月28日まで24時間態勢で避難所を運営した。その様子を記録した資料約40点が展示されている。

学生による炊き出しの光景や、車いすの人が使いやすいよう段ボールを使って高さ調整したベッドが並んだ避難所の写真パネルのほか、実際に避難所に張られた情報発信のための黒板など、0月号が

らは奈良県御所市の水平社博物館で展示される。障害を理由とした不当な差別を禁止する「障害者差別解消法」が施行されて1年以上。法は、障害者が壁を感じずに生活できるように「合理的配慮」を関係機関に求めている。

展示を構成した熊本学園大水俣学研センターの井上ゆかりさんは「災害はいつ、どこでも起こりうる。被災地での『合理的配慮』について一緒に考えてもら

熊本学園大学に大勢が避難していた時の様子を撮影した写真パネルや、各地から寄せられたメッセージなどが展示されている。大阪市浪速区「それは」と話す。今年26日まで。19日には熊本学園大の花田昌宣教授、井上さんによる解説もある。入館料は大人500円、高年生300円、小学生200円など。日、月、火、第4金曜、祝日は休館。(山根久美子)

府内の最低賃金 26円増え999円に

審議会が答申

大阪府最低賃金審議会は3日、府内の最低賃金を現在の883円から26円引き上げて909円とするよう大阪労働局に答申した。9月30日から改正する予定。今回府労使の意見聴取だけでなく、労働現場に出席

新潟水俣病判決などを議論 研究交
流集会に市民ら150人

新潟水俣病判決などを議論

研究交流集会に市民ら150人

水俣病を巡る問題について、全国の研究者や専門家、市民らが議論する「第13回水俣病事件研究交流集会」が6日、水俣市公民館で始まった。この日は、新潟水俣病の患者認定をめぐる昨年11月の東京高裁判決などについて、研究者や弁護士らが集まった約150人と議論を深めた。7日まで。

東京高裁判決は新潟市が患者と認めなかった9人全員の認定を命じた。弁護団長を務めた高島章弁護士は「（勝訴判決の）予感はある」と述べたうえで「判決によって行政認定が変わる」と述べた。

発していく」と指摘した。訴訟支援団体事務局の秋野直路さんは、感覚障害だけでも患者認定できる場合があるとした2013年の最高裁判決を受けて環境省が通知した新指針を、この東京高裁判決が「事実上否定する内容」と指摘。判決について、環境相が「現行の認定条件を変える必要はない」との認識を示したことをめぐって、「なぜ改める必要はないと我田引水するのか、そこを問うていかな」といけぬ」と話した。

熊本地裁だけで1300人以上の原告が原因企業チツソなどに損害賠償を求めている「ノーモア・ミナマ

「対象地域外にも多数の被害があることを明らかにしていく」と報告した。対象地域外に住む原告の女性2人は、「手のしびれや震えなどがあり家事がうまくできず自分を責めてきた」（嫁ぎ先の店が）売った魚を食べて病気になる方を救済してほしい」と述べた。

（奥正光）

潮	8日	小潮	満潮
玉名港	1:04	三角港	0:32
13:45	0:38	水俣港	13:14
7:16	13:17	13:58	6:58
19:57	7:01	19:36	19:36
本渡港	19:38	八代港	0:37
0:32	12:47	13:17	13:03
13:13	6:17	19:07	19:40
6:53	19:07		
19:33			

水俣病団体アンケート

調査回答者の半数「救済域外で被害」

「救済域外で被害」

水俣病の公式確認60年を機に、11の患者・被害者団体を通じて実施したアンケートの分析結果を、熊本学園大学水俣病研究センターが7日、発表した。差別や偏見が続いていることも被害者への補償・救済を求める声が多いことを指摘した。

アンケートは朝日新聞社と水俣病研究センターが2016年に実施。9033人に送り、宛先不明で届かなかった分を除く8948人

人のうち同年5月までに619人から回答があった。同センターは分析結果の中間報告をまとめ、水俣市であった水俣病事件研究交流会で発表した。

回答者が「水俣病の被害を受けたと思う時」の住所は、水俣市と、水俣病被害者救済法（特措法）に基づく救済策の対象地域内が計48.6%。それ以外の地域が半数に達したことから、「濃厚な魚の汚染があった」と考えられる地域だけを救

済地域と限定している特措法の考え方には、多くの被害者を救済できない」と指摘した。

「自分が水俣病だと気づいたのはいつごろか」との問いには、10年前〜30年前とする回答が合わせて8割強を占めた。分析で、19

98年の政治解決策や救済策を機に水俣病の症状について認知度が高まった結果との見方を示した。

悪口や陰口、補償を受けたいことへの非難などの差別偏見を、自分や家族が経験したとの回答は30.7%で、「ここ数年」でも28.4%。水俣病に関する情報発信などの「啓発事業」だけは限界がある」とした。

原因企業チッソに最も期待することとしては「認定患者への補償を継続・充実させる」「幅広く被害者に補償する」を選んだ人だけが計8割を占めた。

同センターの研究の外部評価委員を務める前滋賀県知事の嘉田由紀子氏は発表を聞き、「2600人余のデータの数がある。この結果は有用なものがあり、生かしてほしい」と述べた。センターは詳細な分析を続ける予定。（田中久慈）



熊本地震で大きな被害を受けた益城町の町文化会館で7日、成人式があった。町では275人が成人を迎えた。

この日は進学や就職で町を離れた新成人も帰省し、会場では振り袖もはかま姿で「久しぶりー」などと笑顔で声をかけ合った。

新成人代表として登壇した同町広崎の熊本学園大学2年、山名陸斗さん(20)は自宅为本震に遭い、地震後は町役場近くでボランティアに参加。「壊れた建物の除去、割れた道路の修復など、一つずつ着実に前へと進み出しています。町のために何か小さなことでも貢

新成人代表として登壇した同町広崎の熊本学園大学2年、山名陸斗さん(20)は自宅为本震に遭い、地震後は町役場近くでボランティアに参加。「壊れた建物の除去、割れた道路の修復など、一つずつ着実に前へと進み出しています。町のために何か小さなことでも貢

熊本

熊本総局 TEL: 096-352-4181 FAX: 096-322-4170
 熊本支局 TEL: 096-344-8822
 人吉支局 TEL: 0966-22-4022
 大津支局 TEL: 0960-22-2496
 阿蘇支局 TEL: 0967-22-0134
 玉名支局 TEL: 0968-72-2747
 水俣支局 TEL: 0966-63-2477

きょうの天気

熊本	晴	最高14度	最低8度
阿蘇	晴	最高12度	最低4度
人吉	晴	最高16度	最低7度
水俣	晴	最高17度	最低10度
阿蘇	晴	最高13度	最低6度
阿蘇	晴	最高14度	最低7度
阿蘇	晴	最高15度	最低8度
阿蘇	晴	最高16度	最低9度
阿蘇	晴	最高17度	最低10度
阿蘇	晴	最高18度	最低11度
阿蘇	晴	最高19度	最低12度
阿蘇	晴	最高20度	最低13度
阿蘇	晴	最高21度	最低14度
阿蘇	晴	最高22度	最低15度
阿蘇	晴	最高23度	最低16度
阿蘇	晴	最高24度	最低17度
阿蘇	晴	最高25度	最低18度
阿蘇	晴	最高26度	最低19度
阿蘇	晴	最高27度	最低20度
阿蘇	晴	最高28度	最低21度
阿蘇	晴	最高29度	最低22度
阿蘇	晴	最高30度	最低23度

1月9日(旧11月23日)
 日出 7:20
 日入 17:28
 月出 0:12
 月入 12:17
 月齢 21.9

水俣病公式確認60年 「終わってない」胎児性患者訴え 水俣市、シンポ最終回

を求める。とする不知火海沿岸住民の健康調査についても、具体的にどう国を動かすのか、その本気度が問われていく。農業県にとつ

て環太平洋連携協定（TPP）への対応も待たない。これまで以上に指導力と実行力が試される。

（前田淳）

「終わってない」胎児性患者訴え

水俣市、シンポ最終回

水俣病公式確認から5月1日で60年を迎えるのを前に、患者団体などでつくる実行委員会の「水俣病事件60年を問うシンポジウム」（3回）の最終回が27日、熊本県水俣市で開かれた。胎児性患者の坂本しのぶさん（59）が「年齢を重ねると

症状がだんだん悪くなり、将来が不安。水俣病は終わらない」などと、解決にはほど遠い現状を語った。

坂本さんは「水俣病問題は全く変わっていない。同世代（の被害者）にも未認定

水俣病 公式確認60年



少女時代の写真を背景に、水俣病の被害者、将来の不安を語る坂本しのぶさん（左）。27日、熊本県水俣市

の「人がいる」と支援を呼び掛ける。一国も県も、逃げたはだめた」と訴えた。

水俣病問題の研究者や支援者からは、メチル水銀汚染が広がった不知火海沿岸以外も含めた広範な被害の全容解明を求める意見が、

環境省主導の地域事業への疑問が示された。熊本学園大水俣病研究センター長の花田昌宣教授は「謝罪と補償を求める被害者にどれだけの償っているのか」と、行政や原因企業チツソを批判した。

（河野潤一郎）

衛星ひとみ通信途絶

姿勢異常で電力不足か

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は27日、ブラジルの衛星ひとみ（ひとみ）の通信が26日午後からほとんど途絶え、衛星の状態が確認できなくなったと発表した。衛星の飛行姿勢に異常が生じ、太陽電池で発電できずに電力不足に陥った可能性があるという。今後、通信の復旧を目指し作業を続ける。

JAXAによると、ひとみは高度約580キロの軌道を周回中だが、軌道にずれが生じている可能性もあり

調査している。夏ごろの見

カーナビに似ている
カーナビの良機

www.shhener.com

●クルマは家族●

信栄自動車 総社

TEL. 092-771-9048

郷土の本

いのちの旅



いのちの旅

「水俣学」への軌跡

原田正純著

世界に例をみない健康・環境破壊をもたらした水俣病は、今年、公式確認から60年の節目を迎えた。だが、その教訓は十分に生かされているだろうか。

本書は、熊本医科大学で水俣病を研究し、真摯に患者の立場から診断と研究を行ってきた原田正純医師の、水俣病を捉え直して未来を展望する「水俣学」を提唱した原田正純医師(1934~2012)が書き残した思索と行動の記録だ。

全体は、①「水俣学」の原

像の忘れ得ぬ人びと②地球を舐めた水俣病の繰り返され③過誤④希望の世継ぎとして⑤の5章で構成され、各章とも17編に200字程度の達意とあしる短文が集められて

例えは、水俣病研究半ばで

が、死去した新潟大の医師

の現場をアジア、アフリカ

中南米に訪ねた「中国の水俣

病」をヒタヒタと湖にも「な

とは貴重な記録だ。また、巻

末に収録されている花田昌巨

熊本学園大教授の解説は、

原田氏の仕事と「水俣学」を

俯瞰する内容となっている。

2002年に本紙などに連載

した原稿をもとに刊行された

単行本を、節目の年に文庫化

した。

〈台汲現代文庫・0290円〉

万国リンゴ博覧会

津田昌子、松隈美純著

仕事や結婚、留学などで故

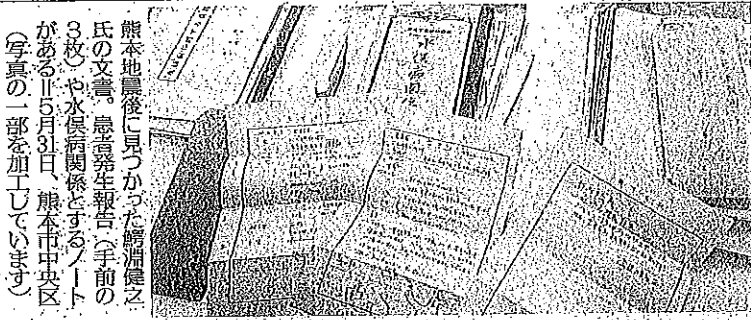
国を離れ、福岡に暮らす外国

人12人が教える母国の家庭科

読書館

水俣病公式確認60年 水俣病史新資料発見 「有機水銀説」の過程詳述 元熊大 学長・故鰐淵氏が記録 熊本学園大で保管

水俣病 新資料発見



熊本地震後に見つかった鰐淵健之氏の文書。最善発生報告(手前の3枚)や水俣病関係とするノートがある。11月5日、熊本市中央区(写真の一部を加工しています)

元熊大 学長・故鰐淵氏が記録

熊本学園大(熊本市中央区)で、水俣病関係の新資料が発見された。元熊大 学長の故鰐淵健之氏が、水俣病の原因として「有機水銀説」を発表した熊本大医学部研究班の会議録などを詳細に記したノートなどで、熊本地震で散逸した資料を整理する中で見つかった。所蔵する熊本学園大水俣病研究センター長の花田昌宣教授は「公式確認60年の水俣病発生初期から記す貴重な資料も含まれている。分析できていない資料も多く、精査したい」と話している。

熊本学園大で保管

文書は熊本学園大の二室に保管されていた。水俣病被害に際し、鰐淵氏に箱数箱に保存 拡大し始めた1950年代、鰐淵氏は熊本大 学長(1950～59年)を務めており、当時から80年代までのノートや書簡、患者発生報告書など計約300冊が入っていた。



鰐淵健之氏(熊本大 学長)

「有機水銀説」の過程詳述



「水俣病関係」と表題がある会議録ノートには「有機水銀をシロネスミに経口投与すると(水俣病の)症状が出てくる」などと、医学部研究班が有機水銀説を発表する直前の生々しいやりとりが描かれている。鰐淵氏の弟子とされる研究班リーダーの徳臣晴比古氏(2014年死去)が鰐淵氏に送った「水俣病患者発生報告(六十九人目)」には、1959年の男性患者の症状を「3・10 舌がもつれ始め」などと日付入りで記録。「毎日刺身を食べたが、食欠がひどいことなく」とも記している。当時のチツソ水俣工場長が、存命中の患者について「(死んだ場合)解剖した脳を分けてほしい」と依頼する文書もあった。鰐淵氏は48年に旧熊本医科大学 学長、59年には旧厚生省食品衛生調査会水俣病特別部会の委員代表などを歴任。熊本大医学部研究班の会議で報告を受ける立場にあり、それを記録していたとみられる。研究班は64年に水俣病研究の成果を書籍で刊行したが、鰐淵氏個人が記したメモにはこれまでにない研究の舞台裏が記されている可能性がある。

状況も記している。当時のチツソ水俣工場長が、存命中の患者について「(死んだ場合)解剖した脳を分けてほしい」と依頼する文書もあった。鰐淵氏は48年に旧熊本医科大学 学長、59年には旧厚生省食品衛生調査会水俣病特別部会の委員代表などを歴任。熊本大医学部研究班の会議で報告を受ける立場にあり、それを記録していたとみられる。研究班は64年に水俣病研究の成果を書籍で刊行したが、鰐淵氏個人が記したメモにはこれまでにない研究の舞台裏が記されている可能性がある。

(河野潤一郎)

「61年目」伝え方など課題議論 水俣病の研究交流集会開幕 きょう医学や訴訟 現状報告 130人参加

「61年目」伝え方など課題議論

水俣病の研究交流集会開幕

きょう医学や訴訟 現状報告

130人参加

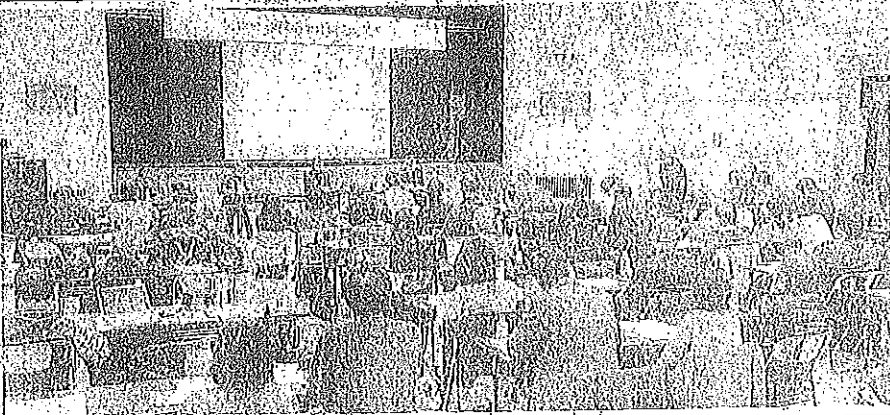
水俣病の研究者や医師、患者、被害者の支援者らが全国から集まり議論する「第12回水俣病事件研究交流集会」（実行委員会主催）が7日、水俣市の市公民館で2日間の日程で始まった。初日は7人が六つのテーマで研究内容を報告、公式確認から61年目を迎える水俣病の伝え方や地域再生について意見を交わした。

元県健康福祉部部長の森枝敏郎氏は「1990年から5年間、水俣再生に取り組んだ経験などを振り返り、「問題」を正面から向き合うことなくして、教訓は生まれない。過去にふたをし、歴史を塗り替えることは許されない」と強調した。

NHK熊本放送局の吉崎健ダイレクターは、胎児性患者の坂本しのぶさん(60)を記録した59年から現在までの映像を見せ、今後の課題などを説明した。加齢とともに進む症状の悪化や親の高齢化、生きがい探しに焦点を当て、「まだ60歳。これからどう生きていくのか、人として関心を持ってもらいたい」と訴えた。

集会は、水俣病研究の第一人者で医師の故原田正純氏が始めた勉強会

を引き継ぎ、今年は約130人が参加。8日は午前9時半から、医学や訴訟の現状などについての報告がある。(河合仁志)

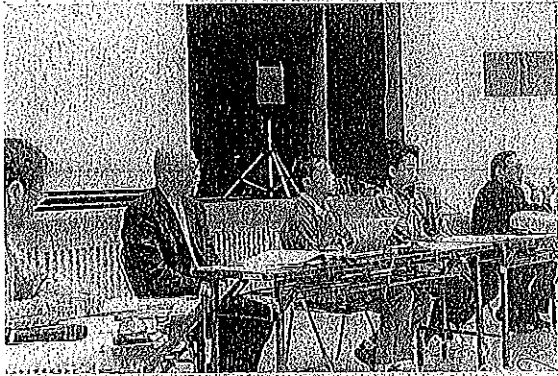


水俣市で始まった第12回水俣病事件研究交流集会

毛髪水銀濃度、行政の線引き 「認定の壁」批判相次ぐ 水俣病の研究交流集会閉会

「認定の壁」批判相次ぐ

水俣病の研究交流集会閉会



水俣病事件研究交流集会で、行政が患者認定の目安としている水銀濃度などについて参加者と意見を交わす医師や研究者

全国の水俣病研究者も医師、環境汚染について報告
師、支援者たちが意見を交わす。閉会した。行政が
わす。第12回水俣病事件研 水俣病発症の境界値と見な
究交流集会」(実行委員会)し、患者認定の壁ともなっ
主催)は最終日の8日、水 ている毛髪水銀濃度など
民市の市公民館で医学部を を中心に議論し、研究者

毛髪水銀濃度、行政の線引き

や医師から「行政に都合の
いい線引き」「科学的な根
拠がない」との批判が相
次いだ。

世界保健機関(WHO)
は1990年、成人で神経
症状の出現が疑われるメチ
ル水銀の最小値を毛髪水
銀濃度で50ppmと規定、国
も実は患者認定の際の目
安と位置づけ、訴訟でも50
ppmを超える汚染がない限
り発症することはない(新
潟市)などと主張してい
る。

新潟水俣病訴訟で未認定
患者を支援する精神科医の

丸山公男、新潟青陵大教授
は65、86年に実施した診断
結果を基に「50ppm未満でも
安全ではなく、国や県の勝
手な論理」と指摘。阪南中
央病院(大阪府)の三浦洋
医師は基準値が採用された
経緯を詳しく「動物実験や



「ミヨシカールガールズ」N.A.S.O.で
歌を響かせる出陣者たち

歌声で能本を元気に

海外の事例から得た何の意
味もない数字で、既に時効
だ」と非難した。
このほか、熊本学園大の
中地重晴教授(環境化学)が、2014年と昨年、水
俣病周辺で実施した水銀濃
度の底層調査や、昨年3月
に市民5人を対象に食事
に含まれる水銀濃度を調べた
結果を報告。「底質中の水
銀濃度は全国の平均値より
10〜70倍高く、食事につい
ても継続して調査する必要
がある」と述べた。
(河合正志)

熊本学園大で国際シンポ 先住民が報告

カナダの水銀被害を訴え

熊本学園大で国際シンポ 先住民が報告

カナダの先住民居留地で起きた水銀汚染について考える国際シンポジウムが18日、熊本市の熊本学園大で2日間の日程で始まった。

初日は、先住民代表のサイモン・フォビスターさん(61)ら3人が現地の現状や健康被害補償について報告し、「住民のニーズに合った補償になっておらず、制度の再構築を政府に要求している」などと語った。

カナダ中南部のオンタリオ州では1960年代以降、製紙工場の廃水に含まれた水銀で川が汚染され、その後住民らに健康被害が現れた。75年に医師の故原

の健康調査を行い、汚染の実態を公表。86年、カナダ政府などは「水銀障害委員会」を設け、神経症状など

がある住民に補償金を支払う仕組みを作ったが、厳しい基準になっているという。

フォビスターさんは「原田さんは『水俣病が発生している』と言ったが政府は認めない。川底の水銀



水銀汚染の被害について語るカナダ先住民代表のサイモン・フォビスターさん(左)たち

除去も十分ではなく、背景には先住民への差別がある」と訴えた。別の地区に住むマーヴィン・リー・マクドナルドさん(54)は「未婚が水銀中毒症と診断された時も州政府からは何の説明もなかった」と語った。19日は水俣市の市公民館で、水俣病被害者の報告や先住民たちの討論も行われる。(河合仁志)

復興支援団体育成へ熊本市で講座始まる
熊本地震からの復興を支える地元への支援団体を育成しようと、NPO法人のジャパン・ブラッドフォーム(東京)が主催する集合講座が17日、熊本市で始まり、支援団体や行政関係者など約40人が参加した。

カナダと交流を継続 水銀国際シンポ閉会

学園大水俣学センター

カナダの先住民居留地で起きた水銀汚染について考
える国際シンポジウムは最
終日の19日、水俣市の市公
民館で水俣病被害者や現地
で調査に当たった医師の報
告があり閉会した。写真。

主催した熊本学園大水俣学
研究センターは2年に1
回、両国を相互に訪問し、
交流を続けていくことを確
認した。

2010年に居留地を訪
れ、検診をした協立クリニ
ック（水俣市）の高岡滋院



長は神経所見などを基に
「カナダと日本のメチル水
銀被害者の症候は類似して
いる」と説明。医師による
診察が現地で適切に行われ
ていないとして「（日本と
同様に）医学が行政にコン

トロールされてしまってい
る」と指摘した。

同センターの花田昌宣セ
ンター長は「現地では10代
の多くに感覚障害があるの
が驚き。カナダ国内での関
心は低く、引き続き調査や
交流を続けていきたい」と
語った。（河合仁志）

事件・事故

◆芦北町の畑で火災、男性
やけど 19日午前10時45分こ
ろ、芦北町告の畑約5千平方
メートルを焼く火事があった。芦北
町によると、畑を所有する近
くの平岩正義さん(86)が現場
で倒れており、両膝下にやけど
を負って病院に搬送され
た。命に別条はないという。

水銀汚染多角的に議論

坂本しのぶさん「私の言葉伝わった」

水俣病事件研究交流集会在閉幕

(第3種郵便物認可)

坂本しのぶさん「私の言葉伝わった」

カナダ先住民居留地の浄化対策報告

水銀汚染多角的に議論

全国の水俣病研究者や医師、支援者たちが意見を交わす「第13回水俣病事件研究交流集会」(実行委員会主催)は最終日の7日、水俣市の市公民館で、胎児性患者の坂本しのぶさんの報告があった。カナダの先住民居留地で起きた水銀汚染に関する現状や、熊本学園大水俣学研究センターの活動を伝える発表もあり、「終わらない水俣病」を取り巻く課題の整理を中心に議論を深めた。

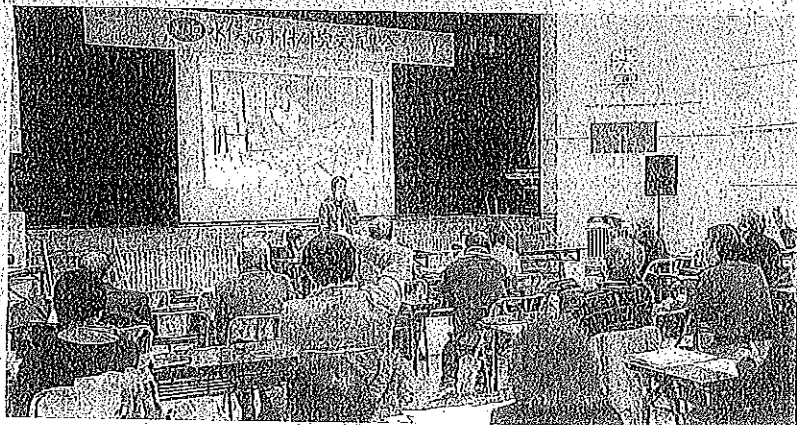
昨年9月にスイスで開かれた「水銀に関する水俣条約」第11回締約国会議に参加し、水銀被害の根絶を訴えた坂本さんは、「私の言葉が伝わったと思う」と話した。付き添った支援者の谷田布衣さんは、「いろいろな人と会う機会が得られ、充実した10日間だった」と振り返った。

カナダ先住民の水銀被害を研究する和光大(和光)の森下

水俣病事件研究交流集会在閉幕

定申請を棄却された9人全員を原告認定するよう命じた昨年11月の東京高裁判決を踏まえた会合も市公民館であった。

高島章弁護士団長は「11人でも認定患者を多く勝ち取ることが課題。この判決を具体的な成果につなげるため協力したい」と強調。訴訟支援団体事務局の秋野直路さんは「今回の判決で訴訟のハードルが下がった。訴訟の輪を広げて、国の現行基準の見直しを求めていきたい」と述べ、活動への期待感を語った。会合を主催した水俣病被害者・支援者連絡会は、環境省や県への働き掛けを強める考えを示した。(河合信志)



胎児性患者の坂本しのぶさんが報告した「水俣病事件研究交流集会」

2017.1.8

読売新聞

朝刊

2 面 1 段

水俣病事件研究会始まる 130人
聴講

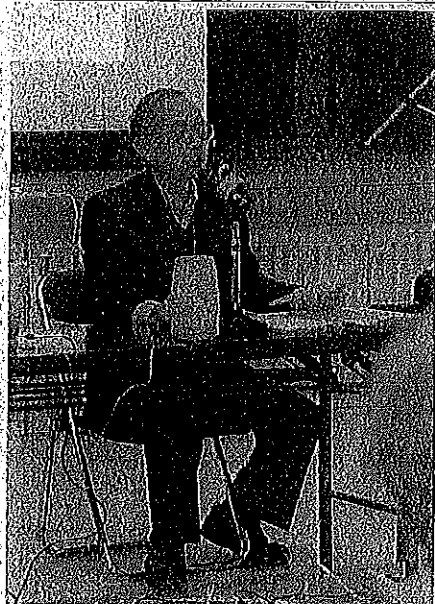
熊本 2017年(平成29年)1月8日(日曜日)

頁壹

水俣病研究集会始まる 130人聴講

水俣病研究者らが研究成
果や活動を報告する「水俣
病事件研究交流集会」が7
日、水俣市公民館で始まり、
市民ら約130人が聴講し
た。8日まで。

水俣病の原因企業「チッ
ソ」の歴史を研究している矢
作正さんは「1970年代



研究成果を報告する矢作さん

チッソ救済の経緯と論点」
と題して発表。チッソ副社
長を務めた久我正二氏(2
008年死去)のメモから、
患者への補償で経営危機に
陥った同社への公的支援の
実施を国が決めるまでの経
緯などを明らかにした。

質疑応答では、「チッソ
は企業城下町の城主として
振る舞うのではなく、市民
と一緒にやって水俣のまち
づくりを進めるべきだ」な
どの意見が出された。

8日は医師や支援者ら
が、水俣病の実像や係争中
の訴訟などについて報告す
る。

本県の新潟水俣病情報発信事業の一環で水俣市を訪れた新大生の案内役を務めたのは、熊本学園大水俣学研究センターの田尻雅美研究員(49)だ。田尻さんに水俣病を現地で学ぶ意義を聞いた。

水俣学は「負の遺産」としての公害、水俣病を未来に生かすことを目的としています。水俣病研究の第一人者で2012年に亡くなった原田正純医師が提唱しました。

熊本学園大は06年、熊本市に水俣学研究センターを、水俣市に水俣学現地研究センターを相次いで開設しました。初代センター長は原田さんでした。

水俣の現地に足場を置き、国際的視野をもって教育と研究を進めています。

私は胎児性水俣病患者のケアに取り組み傍ら、水俣病を学ば

田尻雅美・熊本学園大水俣学研究センター研究員



たじり・まさみ 1968年、熊本市出身。熊本学園大大学院博士後期課程修了。2005年から同大水俣学研究センター研究助手、17年から現職。専門は社会福祉学。

諦めない姿勢学んで

水俣病は、チツソ水俣工場が海に流したメチル水銀が原因で、汚染された魚介類を食べた住民が神経障害を発症した特別な事件です。

うご全国から水俣を訪れる研究者や学生を、水俣学研究センターとして受け入れ、年間20回くらい視察先を選んで案内しています。

その際に大事にしているのは、被害者の住む家や施設、漁村など、彼らの生活に直接触れながら話を聞いてもらうことです。

そして水俣病事件を学び、被害者の支援をライフワークに選んだ人たちもいます。

「もろろん、差別や偏見を恐れず、声を上げられない人もたくさんいます。」

社会を動かしてきたのは、「被害者になったのは」しよ「うがない」などと諦めなかつた被害者とその支援者だと思います。

水俣を視察した学生が将来、就職した時、過重労働やいじめなど、理不尽な問題を直面する

ことがあるかもしれない。その時に「しょうがない」などと諦めてはしくありません。

当事者として、あるいは当事者の仲間として、その問題としっかり向き合ってほしいのです。

短い時間ではあっても水俣の人たちとの触れ合いを通して、そのことを学んでほしいと思います。